

令和 7 年度札幌市障がい福祉施策に係る障がい児者実態等調査

報 告 書

【 付 録 】

2026年3月

札幌市

ほけんふくし かん
保健福祉に関するアンケート調査

白ごころから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、障がいのある人の状況やご意見をお聞かせいただき、今後の障がい者施策の推進に役立てるために「保健福祉に関する調査」を実施することとしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は令和7年12月1日現在、障がい者手帳または特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちの18歳以上の方から、無作為に抽出して、そのご本人様あてにお送りしたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方からご協力いただきました。

ご回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたってのお願い・注意事項

- アンケート調査の回答方法は次の2種類があります。（1）か（2）のどちらか1つを選んで、令和8年2月16日までに回答してください。
（1）この用紙に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函する。
（切手は不要です。封筒にお名前を記入する必要もありません。）
（2）パソコンやスマートフォン等を使用し、右の二次元コードを読み取るか、<https://forms.gle/WoARDZ5f5JG7itue8> にアクセスし、フォームの内容に沿って回答する。
- 質問は、あて名のご本人（あなた）に対するものです。
- ご本人が病気や障がいなどの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の方がご本人の立場に立ってご回答ください。
- わからない質問や答えたくない質問には無理に答えずに、次の質問に進んでください。
- 令和7年12月1日現在の状況でご回答ください。



ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川

電話：011-251-5181/FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について（札幌市公式ホームページ内）

URL：<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/7tyousa.html>

二次元コード：



この調査票で「あなた」とあるのは、あて名ご本人の事です。

1 あなたのこと、世帯の状況について

問1 あなたの性別に○をつけてください。

- | | |
|-----|-----------|
| 1 男 | 3 どちらでもない |
| 2 女 | 4 回答しない |

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

（令和7年12月1日現在）

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～64歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 65歳～74歳 |
| 4 40歳～49歳 | 8 75歳以上 |

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 家族または自分の持ち家 | 6 グループホーム（障がい者向け） |
| 2 民間のアパートなど | 7 入所施設（障害者支援施設） |
| 3 市営住宅 | 8 病院に入院中 |
| 4 道営住宅、公園の住宅 | 9 高齢者向けの入所施設等 |
| 5 会社の寮 | 10 その他（ ） |

問4 あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 身体障害者手帳 1級	10 精神障害者保健福祉手帳 1級
2 身体障害者手帳 2級	11 精神障害者保健福祉手帳 2級
3 身体障害者手帳 3級	12 精神障害者保健福祉手帳 3級
4 身体障害者手帳 4級	13 自立支援医療
5 身体障害者手帳 5級	(精神通院医療受給者証)
6 身体障害者手帳 6級	14 特定医療費(指定難病)受給者証
7 療育手帳 A(最重度または重度)	または特定疾患医療受給者証
8 療育手帳 B(中度)	15 上記のいずれも持っていない
9 療育手帳 B(軽度)	

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 視覚障がい	20 気分障がい(うつ病、躁病など)
2 聴覚障がい	21 中毒性精神障がい
3 平衡機能障がい	(アルコール等)
4 音声・言語・そしゃく機能障がい	22 心因性精神障がい
5 肢体不自由(上肢)	(心因反応、パニック障がい等)
6 肢体不自由(下肢)	23 パーソナリティ(人格)障がい
7 肢体不自由(体幹)	24 認知症
8 脳病変による運動機能障がい(上肢)	25 てんかん
9 脳病変による運動機能障がい(移動)	26 自閉症、アスペルガー症候群を含む
10 心臓機能障がい	広汎性発達障がい(自閉症スペクトラム)
11 じん臓機能障がい	27 注意欠陥多動性障がい
12 呼吸器機能障がい	(注意欠如・多動性障がい)
13 小腸機能障がい	28 学習障がい
14 ぼうこう・直腸機能障がい	(限局性学習障がい)
15 免疫機能障がい	29 高次脳機能障がい
16 肝臓機能障がい	30 難病
17 知的障がい	31 化学物質過敏症
18 重症心身障がい	32 その他()
19 統合失調症	

問6 家族のこについておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

あなたを含めて 人家族

(2) あなたがいつしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 父	8 その他の親族
2 母	9 グループホームに入所中
3 夫または妻(配偶者)	10 病院に入院中
4 兄弟姉妹	11 施設に入所中
5 祖父・祖母	12 いない(ひとり暮らし)
6 子ども	13 その他()
7 子どもの配偶者	

問7 あなたの主な支援者はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。1～8を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

記載例) ② 母 (60)代

1 父	()代
2 母	()代
3 夫または妻(配偶者)	()代
4 兄弟姉妹	()代
5 祖父・祖母	()代
6 子ども	()代
7 子どもの配偶者	()代
8 その他の親族	()代
9 入所している施設やグループホームの人	
10 入院している病院の人	
11 ホームヘルパーなどサービス事業所の人	
12 成年後見人、保佐人、補助人、任意後見人	
13 支援の必要はない	
14 いない	
15 その他 ()	

問8 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりですみますか。また、介助が必要な場合には誰が支援していますか。それぞれの項目について、あてはまる記号(ア・イ)・番号(1~13)に○をつけてください。

	それぞれに○はひとつ		支援する人(それぞれに○はいくつでも)												
	ひとりでできる	介助を要する	父	母	夫または妻(配偶者)	兄弟姉妹	祖父や祖母	子ども	子どもの配偶者	その他の親族	入所している施設の人	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	その他	いない(ひとり暮らし)	成年後見人・保佐人・補助人・任意後見人
家の中の移動	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
入浴	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
食事	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
トイレ	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
寝返り	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
着替えや洗顔、歯みがき、ひげそりなど	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
家事(掃除など)	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
家族以外との意思の疎通	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
お金の管理	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
薬の管理	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13

問9 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 医療的ケアを受けている(問10-1で示す医療的処置を受けている)【→問10-1へ】	【→問11へ】
2 服薬管理を受けている	
3 訪問診療を受けている	
4 訪問看護を受けている	
5 定期的に通院している(診療・カウンセリング等)	
6 医療は受けていない	
7 その他()	

【問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。】

問10-1 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 人工呼吸器の管理	9 皮下注射
2 気管切開部の処置	10 血糖測定
3 鼻咽頭工アウェイの管理	11 継続的な透析
4 酸素療法	12 導尿
5 吸引(口鼻腔、気管内吸引)	13 排便管理
6 ネブライザーの管理	14 痙攣時の座薬挿入等の措置
7 経管栄養	15 その他
8 中心静脈カテーテルの管理	

《問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。》

問10-2 あなたの医療的ケアを行っている人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2～9を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。記載例) ③ 母 (60) 代

1	自分		
2	父	()	代
3	母	()	代
4	夫または妻(配偶者)	()	代
5	兄弟姉妹	()	代
6	祖父・祖母	()	代
7	子ども	()	代
8	子どもの配偶者	()	代
9	その他の親族	()	代
10	入所している施設やグループホームの人		
11	入院している病院の人		
12	ホームヘルパーなどサービス事業所の人		
13	その他	()	

3 障がい福祉サービスについて

《みなさまにお聞きします。》

問11 あなたは、現在、居宅介護などの障がい福祉サービス(障害者総合支援法)を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	利用している【→問12-1へ】
2	利用していない【→問12-2へ】

※ なお、札幌市における障がい福祉サービスの詳細については、以下URLの「障がいのある方のための福祉ガイド2025」等をご参照ください。
<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/guide/fukushiguide.html>



《問11で「1 利用している」と回答した人にお聞きします。》

問12-1 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)に満足していますか。それぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数のサービスを利用されている方は、最も利用頻度の高いサービスについてお答えください。

	満足している	おおむね満足している	あまり満足していない	満足していない
サービスの量	1	2	3	4
サービスの内容	1	2	3	4
サービスの質	1	2	3	4
事業所の対応(わかりやすく説明してくれるかなど)	1	2	3	4

《問11で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。》

問12-2 利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1	サービスを利用する必要がない
2	身近な人からの支援がある
3	利用したいサービスがない
4	交通の便が悪い
5	サービスを利用しようとしたが断られた
6	利用するサービスを検討中
7	なるべくサービスを利用せずに生活したい
8	その他 ()

《問11で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。》

問12-3 現在、利用先を探していますか。

- | |
|---|
| 1 探している |
| 2 探していたが、サービス利用が必要な時期に間に合わなかったため、探すことをやめた |
| 3 探していたが、サービスを利用する必要がなくなったため、探すことをやめた |
| 4 必要になったら探す |
| 5 探していない |

《みなさまにお聞きします。》

問12-4 サービスを利用しようとしたが断られたことはありますか。

- | |
|----------------------|
| 1 ない |
| 2 時々ある |
| 3 断られることが多い |
| 4 いつも断られる |
| 5 サービスを利用しようとしたことがない |

《みなさまにお聞きします。》

問13 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。

	利用している	利用しようとしてできなかった (断られた)ことがある	現在、利用していないが、これから利用したい
居宅介護	1	2	3
重度訪問介護	1	2	3
重度障害者等包括支援	1	2	3
生活介護	1	2	3
短期入所	1	2	3
共同生活援助 (グループホーム)	1	2	3
同行援護	1	2	3
行動援護	1	2	3
計画相談支援	1	2	3

問14 あなたは、障がい福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 利用の手続きが簡単であること（利用手続きの簡素化）
- 2 早く利用が開始できること
- 3 サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと
- 4 相談支援事業所に相談しやすくなること
- 5 グループホームや施設等へ入所するまでの待機時間の短縮
- 6 本人の障がい等に対応できる事業所が増えること
- 7 サービスが利用できる回数や時間が増えること
- 8 早朝・夜間・休日に利用できること
- 9 緊急時に対応してくれること
- 10 交通の便がよい場所でサービスを受けられること
- 11 希望に応じて柔軟な対応をしてくれること
- 12 利用者負担を軽減すること
- 13 プライバシーが守られること
- 14 ヘルパーや支援員が親切に対応してくれること（資質の向上）
- 15 利用できる事業所が見つかりやすいこと
- 16 その他（ ）

4 外出の状況について

《みなさまにお聞きします。》

問15 あなたが外出する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|-----------|----------------------|-----------|
| 1 買い物 | } {→問16へ} | 8 施設などへの通所 | } {→問16へ} |
| 2 友だちなどの家 | | 9 食事 | |
| 3 趣味・レクリエーション | | 10 特に目的はない | |
| 4 スポーツ | | 11 その他 | |
| 5 文化・芸術活動 | | () | |
| 6 仕事 | | 12 まったく外出しない {→問17へ} | |
| 7 通院 | | | |

《問15で「12 まったく外出しない」以外を回答した人にお聞きします。》

問16 外出するときに困っていることは何ですか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- 1 外出を介助してくれる人がいない
- 2 バリアフリー化されていない場所がある
- 3 交通機関が利用しにくい
- 4 駅や道路の案内や表示がわかりづらい
- 5 交通費がかかる
- 6 人の目が気になる
- 7 困った時に周囲の人が助けてくれない
- 8 外出中に体調が悪くなるのが不安である
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

《問15で「12 まったく外出しない」を回答した人にお聞きします。》

問17 近年、社会全体のつながりが希薄化している中で、「孤独・孤立」が問題となっていますが、あなたの外出状況に関連して、あなたやあなたの周りの人の現在の状況としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 あなた自身に、つらい感じや、苦しい感じがある
- 2 あなた自身に、寂しい感じや、孤独な感じがある
- 3 家族や周囲の人が、あなたのことを心配している様子である
- 4 家族や周囲の人が、あなたのことをどこかに相談に行っている
- 5 あなたの仕事（学業）や就職活動に支障が出ている
- 6 あなたの家族との関係に支障が出ている
- 7 あなたの交友関係に支障が出ている
- 8 当てはまるものはない

《みなさまにお聞きします。》

問18 あなたは今後、特にどの建物を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いませんか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 市役所、区役所等の官公庁施設
- 2 公共交通機関（地下鉄・バス・市電）の駅や停留所、ターミナル等
- 3 区民センター、地区センター、図書館、美術館、劇場等の文化教養施設
- 4 体育館、プール等の体育施設
- 5 病院、診療所等の医療施設
- 6 ホテル、旅館等の宿泊施設
- 7 百貨店、デパート
- 8 スーパーマーケット
- 9 コンビニエンスストア
- 10 飲食店
- 11 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思う建物はない
- 12 その他（ ）

《問18で「1～10」を1つでも選んだ人にお聞きします。》

問19 あなたは、問18で選択した建物について、今後、特にどの設備を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いませんか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 建物への出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 2 建物内部の出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 3 建物内部の通路・廊下（段差の解消、幅の確保等）
- 4 階段（手すりの設置等）
- 5 エレベーター（車いすで使用しやすいエレベーター、音声案内の設置等）
- 6 トイレ（車いす使用者対応トイレの設置、多機能トイレ（注1）の設置等）
- 7 駐車場（車いす使用者対応駐車スペースの設置等）
- 8 敷地内の通路（段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の設置等）
- 9 カラーユニバーサルデザイン（注2）による表示
- 10 カームダウンスペースの設置（注3）
- 11 文字情報の充実（点字や触知図の設置、分かりやすい表現等）
- 12 その他（ ）

注1 車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト（人工肛門等保有者）対応設備、オムツ換えシート、バギーチェア、ユニバーサルシート、サニタリーボックスなどを備えたトイレのこと

注2 色覚の個人差を問わずより多くの人に利用しやすい情報等を提供するという考え方

注3 音や光などの外部の刺激を遮断し、気持ちを落ち着かせるための安全な空間

5 仕事について

《みなさまにお聞きします。》

問20 あなたは現在、どのような形で仕事をしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 一般就労をしている（主に職場に通勤して働いている）【→問21-1へ】
- 2 一般就労をしている（主に在宅で働いている）【→問21-1へ】
- 3 福祉的就労をしている（就労支援事業所、地域活動支援センター、地域共同作業所）【→問22-1へ】
- 4 仕事をしていない【→問23-1へ】

《問20で「1・2」と答えた人にお聞きます。》

問21-1 どのような形で雇用されていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 正社員として働いている
- 2 派遣社員・契約社員として働いている
- 3 パート・アルバイトとして働いている
- 4 自営で仕事をしている・フリーランスで働いている
- 5 その他 ()

問21-2 あなたはどのようにして、現在の仕事に就きましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ハローワークを利用した
- 2 学校からの紹介や支援を受けた
- 3 就労移行支援事業所の支援を受けた
- 4 就労継続支援事業所の支援を受けた
- 5 就業・生活相談支援事業所の支援を受けた
- 6 相談支援事業所の支援を受けた
- 7 親族や知人からの紹介を受けた
- 8 自分で探して就職した
- 9 その他 ()

問21-3 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、困っていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 職場が遠い
- 2 通勤のための交通機関の利用が大変である
- 3 仕事の悩みを相談する場所がない（相談する場所がわからない）
- 4 仕事の量が多い・勤務時間が長い
- 5 仕事の内容が難しい
- 6 自分に向いた仕事ではない
- 7 給料が少ない
- 8 他人よりも作業ができなくて肩身が狭い
- 9 職場で必要な介助・支援が得られない
- 10 通院や体調不良時の休暇をとりづらい
- 11 賃金や評価の面で不利な扱いを受けている
- 12 職場の人間関係がうまくいかない
- 13 職場の障がいに対する理解が足りない
- 14 温度や照明、空気など職場の環境が悪い
- 15 困っていることはない
- 16 その他 ()

問21-4 あなたが現在の仕事を続けていくうえで、必要だと思うことはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 給料が安定している
- 2 勤務時間や日数を選ぶことができる
- 3 休暇がとりやすい
- 4 テレワークなどの在宅勤務ができる
- 5 ジョブコーチ・ジョブサポーター（仕事がしやすいように支援する専門員）がいる
- 6 上司や同僚が支援してくれる
- 7 企業が通勤・通所の交通手段を確保してくれる
- 8 職場で、必要な介助・支援が受けられる
- 9 障がい者を雇用する企業に行政が助成をする
- 10 特にない
- 11 その他 ()

《問20で「3 福祉的就労をしている」と答えた人にお聞きします。》

問22-1 あなたが作業をするうえで困っていることはありますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 職場が遠い
- 2 通勤のための交通機関の利用が大変である
- 3 仕事の悩みを相談する場所がない（相談する場所がわからない）
- 4 仕事の量が多い・勤務時間が長い
- 5 仕事の内容が難しい
- 6 自分に向いた仕事ではない
- 7 給料・工賃が少ない
- 8 他の人よりも作業ができなくて肩身が狭い
- 9 職場で必要な介助・支援が得られない
- 10 通院や体調不良時の休暇をとりづらい
- 11 賃金や評価の面で不利な扱いを受けている
- 12 職場の人間関係がうまくいかない
- 13 職場の障がいに対する理解が足りない
- 14 温度や照明、空気など職場の環境が悪い
- 15 困っていることはない
- 16 その他（ ）

《問20で「3 福祉的就労をしている」と答えた人にお聞きします。》

問22-2 あなたは今後、一般就労をしたいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 一般就労の希望があり、就職先を探している
- 2 一般就労の希望があり、今後、就職先を探そうとしている
- 3 現在の作業（福祉的就労）を今後も続けたい
- 4 その他（ ）

《問20で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。》

問23-1 あなたが仕事をしていない理由はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 仕事をするところが見つからないから
- 2 仕事をする調子をくずすから
- 3 職場への通勤や通所が困難だから
- 4 職場内で必要な支援が得られないから
- 5 医師や家族から止められているから
- 6 意欲がわからないから
- 7 自分がやりたい仕事が見つからないから
- 8 障がいや病状からみて難しいと思っているから
- 9 給料などの条件が自分に合っていないから
- 10 就職を支援してくれる人がいなかったから
- 11 特になし
- 12 その他（ ）

《問20で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。》

問23-2 あなたは今後、どのような形で仕事をしたいと思いませんか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 一般就労で仕事をしたい（正社員として）
- 2 一般就労で仕事をしたい（派遣社員として）
- 3 一般就労で仕事をしたい（パート・アルバイトとして）
- 4 福祉的就労で作業をしたい
- 5 個人で（自宅で）仕事を始めたい
- 6 仕事（作業）をしたいとは思わない

《問20で「4 仕事をしていない」と答えた人にお聞きします。》

問23-3 あなたが仕事を始める上で必要なことは何だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自分に合った仕事や働く場を見つけてくれるところがある
- 2 就職や仕事に関する情報を教えてくれるところがある
- 3 給料が安定している
- 4 勤務時間や日数を選ぶことができる
- 5 休暇がとりやすい
- 6 在宅勤務ができる
- 7 ジョブコーチ・ジョブサポーター（仕事しやすいように支援する専門員）がいる
- 8 上司や同僚が支援してくれる
- 9 周囲が障がいについて理解している
- 10 企業が通勤・通所の交通手段を確保してくれる
- 11 職場で、必要な介助・支援が受けられる
- 12 障がい者を雇用する企業に行政が助成をする
- 13 仕事（作業）をしたいとは思わない
- 14 その他（ ）

6 生活の場について

《みなさまにお聞きします。》

問24 あなたは、これまでに民間のアパート、公営住宅（道営・市営）などへの入居で困ったことはありますか。また、それは、どのようなことでしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 入居できる物件のことがよくわからなかった
- 2 家主から入居を断られた
- 3 保証人が見つからなかった
- 4 住宅改修に関する情報を教えてくれたり相談できたりするところが見つからなかった
- 5 近所の人の障がいに対する理解が不足していた
- 6 事故など緊急時に支援が得られなかった
- 7 困ったことはない
- 8 民間のアパートなどに住んだことがない
- 9 その他（ ）

問25 あなたは今後、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 家族または自分の持ち家 | 4 グループホーム |
| 2 民間のアパートなど | 5 入所施設（障害者支援施設） |
| 3 市営住宅・道営住宅 | 6 その他（ ） |

7 防災について

《みなさまにお聞きします。》

問26 災害時に手助けしてくれる人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 父
- 2 母
- 3 夫または妻（配偶者）
- 4 兄弟姉妹
- 5 祖父・祖母
- 6 子ども
- 7 子どもの配偶者
- 8 その他の親族
- 9 成年後見人、保佐人、補助人、任意後見人
- 10 入所している施設の人
- 11 ホームヘルパーなどサービス事業所の人
- 12 友人
- 13 近所の人
- 14 民生委員・児童委員
- 15 いない
- 16 その他（ ）

問27 あらかじめ近所の人やボランティアに避難の手伝いをお願いすることについてどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 個人情報の提供には抵抗がなく、手伝ってほしい
- 2 個人情報の提供には抵抗があるが、手伝ってほしい
- 3 個人情報の提供には抵抗がないが、手伝ってほしくない
- 4 個人情報の提供には抵抗があるので、手伝ってほしくない
- 5 ひとりで避難できるので、協力は必要ない
- 6 家族や知人に手伝ってもらえるので、協力は必要ない
- 7 今は必要ないが、将来的には手伝ってほしい
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問28 洪水や土砂災害の恐れがある場合、自治体から避難情報が発令される前の段階で、避難を希望しますか。

- 1 希望する
- 2 希望しない

問29 あなたは、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家具やガラス類の安全対策
- 2 食料や飲料水の備え（3日間以上）
- 3 身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯
- 4 非常持出品（食料、飲料水、救急セットなど）の用意
- 5 日頃の近所付き合い
- 6 地域の防災訓練への参加
- 7 自宅の安全性をハザードマップ等で確認しておく
- 8 避難場所・避難経路の把握
- 9 災害時、避難を手伝ってくれる人を決めてある
- 10 いつも飲んでいる薬や医療機器（酸素ボンベなど）の用意
- 11 非常用電源の用意
- 12 札幌市防災アプリ「そなえ」（注1）のダウンロード
- 13 札幌市危機管理局X（旧Twitter）のフォロー
- 14 特に備えをしていない
- 15 その他 ()

注1 避難場所がどこにあるかなどを確認できるスマートフォン用防災アプリのこと

問30 あなたは、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 災害発生時に手助けしてくれる人がいない
- 2 災害発生時にどのような行動をしてよいのか分からない
- 3 災害の情報や避難場所がどこにあるかなどの情報を十分に得られない
- 4 避難経路・避難場所がバリアフリーになっていない
- 5 避難場所に必要な支援を受けられるか不安
- 6 慣れた場所（自宅等）以外で過ごすことが不安
- 7 特に不安は感じていない
- 8 その他 ()

問31 避難場所について、あなたが望んでいることは、どのようなことでしょうか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一般避難場所（注1）で、福祉避難スペース（注2）を確保してほしい
- 2 一般避難場所で、十分な飲用水や食料などを確保してほしい
- 3 一般避難場所に、福祉の相談員を配置してほしい
- 4 一般避難場所で、障がい者の特性や程度に配慮した対応をしてほしい
- 5 一般避難場所の経路やトイレを障がい者に配慮したものにしてほしい
- 6 福祉避難所（注3）を増やしてほしい
- 7 福祉避難所で受けることができる支援等についてあらかじめ周知してほしい
- 8 望んでいることはない
- 9 その他（ ）

注1 避難者が一時的に滞る場所（市立小中学校等）のこと

注2 一般避難場所で空き教室などに設けられる要配慮者向けのスペースのこと

注3 特に配慮を要する方々のために設置される避難所のこと（要配慮者二次避難所を指す。）

問32 あなたが避難のためにどのような避難行動をとればよいのかについて、行政や地域が、計画を立てることを希望しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 希望する
- 2 手助けをしてくれる人がいるので希望しない
- 3 個人情報管理されたくないため希望しない
- 4 その他（ ）

8 文化・芸術について

《みなさまにお聞きします。》

問33 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- 2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- 5 映画（アニメを除く）
- 6 アニメ映画、コンピューターや映像を活用したアート（メディアアートなど）
- 7 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）
- 8 芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）
- 9 歴史的な建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
- 10 わからない
- 11 その他（ ）
- 12 鑑賞したものはなし

問34 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽の演奏や合唱
- 2 美術作品の創作（絵画、陶芸、書道など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（ダンス、バレエなど）
- 5 文学作品の創作（詩、小説など）
- 6 茶道・華道
- 7 地域の芸能や祭りへの参加
- 8 その他（ ）
- 9 活動していない

問35 あなたは、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 文化芸術施設のバリアフリー情報を周知する
- 2 文化芸術施設のバリアフリー化を進める
- 3 作品等を発表する機会を増やす
- 4 芸術価値が高い作品等を適正に評価する
- 5 著作権等権利保護の推進
- 6 作品等の創作・発表を支援する
- 7 芸術上価値が高い作品等の販売に係る支援
- 8 文化芸術活動を通じた交流の機会を増やす
- 9 文化芸術に関する相談体制を整える
- 10 文化芸術活動を支援してくれる人材の育成（通訳、送迎、サポーター）
- 11 文化芸術に関する催しを行う主催者等の障がい理解の促進
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

9 読書について

《みなさまにお聞きします。》

※以下の設問について、「読書」には一般書籍のほか、新聞やオーディオブックを含みますが、漫画は含みません。

問36 あなたは過去1年間に読書をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 読書をした
- 2 読書をしていない

問37 あなたは、障がいのある人の読書の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 点字図書等の読書のバリアフリー情報を周知する
- 2 点字図書等の読書のバリアフリー化を進める
- 3 読書に興味を持てる機会を増やす
- 4 その人にあった本を選んでくれる人を育成する
- 5 本を代読してくれる人を育成する
- 6 読書を補助するための、拡大読書機や音声読み上げ機器を増やす
- 7 図書館等に個室を用意する
- 8 本の配達をする
- 9 電子図書を充実させる
- 10 オーディオブックを充実させる
- 11 書店や図書館をバリアフリー化する
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

10 スポーツについて

《みなさまにお聞きします。》

問38 あなたは、過去1年間に、行ったことがある運動（スポーツ）はどれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 ウォーキング(主に体力づくりを意識して歩くもの。同趣旨の階段の上り下りなどを含む)
- 2 散歩(主に気分転換などのため歩くもの)
- 3 ランニング(ジョギング、マラソン)
- 4 体操(ラジオ体操、エアロビクス、ヨガ、器械体操など)
- 5 トレーニング(自宅で行う筋トレ、ストレッチなどの運動を含む)
- 6 自転車
- 7 ボウリング
- 8 eスポーツ(具体的に:)
- 9 その他(具体的に:)
- 10 行えなかった
- 11 行う気がなかった

《問38で「1～9」を1つでも選んだ人にお聞きします。》

問39 あなたは、過去1年間に、どれくらいの運動（スポーツ）をしましたか。
あてはまるものひとつに○をつけてください。

- | | |
|---------|-----------------|
| 1 週3回以上 | 4 月1～3回程度 |
| 2 週2回 | 5 月1回未満(年に数回程度) |
| 3 週1回 | 6 1回だけ |

《みなさまにお聞きします。》

問40 あなたが運動（スポーツ）を行う目的はなんですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 楽しむため | 6 気分転換・ストレス解消のため |
| 2 リハビリテーションの一環として | 7 体型維持・改善のため |
| 3 健康の維持・増進のため | 8 目標や記録への挑戦のため |
| 4 友人や家族との交流のため | 9 その他 |
| 5 障がいのない方との交流のため | () |

11 せいで せいよくとう 制度や政策等について

《みなさまにお聞きします。》

問41 あなたは、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 深まっていると思う | 4 あまりそう思わない |
| 2 まあまあ深まっていると思う | 5 まったく思わない |
| 3 どちらともいえない | |

問42 あなたは過去3年間で、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

- | |
|-------------|
| 1 ある【→問43へ】 |
| 2 ない【→問44へ】 |

《問42で「1 ある」と回答した人にお聞きします。》

問43 どのようなことでいやな思いをしましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 じろじろ見られた |
| 2 いやなことを言われた |
| 3 暴力をふるわれた |
| 4 仲間はずれにされた |
| 5 施設の利用、交通機関への乗車、サービスの利用等の際、順番を後回しにされたことや、拒否されたこと等の不当な扱いを受けたことがある。 |
| 6 病院で円滑に診療を受けられなかった |
| 7 その他 () |

《みなさまにお聞きします。》

問44 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。

これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマーク（赤地に白色の＋と♥）です。



※イメージ

あなたは、このマークがあることを知っていたり、持っていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 マークの意味も含めて知っていた【→問46へ】 |
| 2 詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった【→問46へ】 |
| 3 持ち歩いている【→問45へ】 |
| 4 持っているが持ち歩いていない【→問46へ】 |
| 5 知らなかった【→問46へ】 |

《問44で「3 持ち歩いている」と回答した人にお聞きします。》

問45 あなたはヘルプマークが役に立っていると思いますか。

- | |
|-------------|
| 1 役に立っている |
| 2 役に立っていない |
| 3 どちらともいえない |

《みなさまにお聞きします。》

問46 あなたは、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 行政機関の広報誌
- 3 インターネット（パソコン）
- 4 インターネット（スマートフォン、タブレット等）
- 5 家族や親せき、友人・知人
- 6 成年後見人、保佐人、補助人、任意後見人
- 7 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 8 福祉サービス事業所の人や施設職員
- 9 障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む）
- 10 かかりつけの医師や看護師
- 11 病院のソーシャルワーカー（相談員）や介護保険のケアマネジャー
- 12 民生委員・児童委員
- 13 行政機関の相談窓口
- 14 入手していない
- 15 その他（ ）

問47 あなたは、情報入手する上で、どのような配慮があると良いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 さまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）での提供
- 2 誰もが読みやすい文字などの使用
- 3 誰もが見やすい色の使用
- 4 問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファクスやメールアドレスも記載
- 5 SNS（注1）での情報発信（注1 FacebookやX（旧Twitter）など）
- 6 手話、筆談での対応ができる人材
- 7 わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）の使用
- 8 動画などでの資料の作成
- 9 必要な情報を分かりやすく説明してくれる人材
- 10 必要な情報を遅れずに提供
- 11 特にない
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

問48 あなたは困ったことがあった時、誰に相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家族
- 2 友人
- 3 近所の人
- 4 一緒に仕事をしている人
- 5 ヘルパー等サービス事業所の人
- 6 成年後見人・保佐人・補助人・任意後見人
- 7 区役所
- 8 相談支援事業所
- 9 相談先がわからない
- 10 相談する相手がない
- 11 相談の必要がない
- 12 相談することを諦めている
- 13 その他（ ）

問49 あなたは、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 身近な相談機関が増えること
- 2 長時間待つことなく相談に応じてくれること
- 3 相談員等の専門性を高めること
- 4 インターネットやSNS（注1）を通して利用できること
- 5 プライバシーを守ってくれること
- 6 夜間・緊急時に対応してくれること
- 7 特になし
- 8 その他（ ）

注1 FacebookやX（旧Twitter）などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

問50 あなたが今後、希望する生活をするためには、どのようなことがあればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 ホームヘルプサービスや通所サービスが充実すること
- 2 外出に関する支援が充実すること
- 3 建物のバリアフリー化が進むこと
- 4 家族が介助できない時などに利用する短期入所施設等が充実すること
- 5 重度の障がい者や医療的ケアが必要な人のサービスが充実すること
- 6 補装具や日常生活用具など福祉用具が充実すること
- 7 年金や手当、経済的な負担軽減
- 8 金銭管理や家計管理の支援
- 9 医療やリハビリテーションの充実
- 10 住まいの場が充実すること
- 11 住まいのバリアフリー化が進むこと
- 12 スポーツ、レクリエーション、文化活動の充実
- 13 仕事や作業の場が充実すること
- 14 まわりの人が自分の障がいを理解してくれること
- 15 障がいに対する偏見をなくし理解が深まるための啓発
- 16 生活するのに必要なことを練習できる場所があること
- 17 困ったときに相談事を聞いてくれて助言してくれる機関があること
- 18 必要な情報を簡単に入手することができること
- 19 高齢になっても安心して生活できること
- 20 代読代筆サービスの充実
- 21 代読代筆サービス以外の、コミュニケーションに関する支援が充実すること
- 22 特になし
- 23 その他 ()

問51 あなたは、将来について、どのようなことがあれば、高齢になっても安心して生活できると思いますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- 1 身近に介助や支援をしてくれる人がいること
- 2 希望すればグループホームや入所施設に入れること
- 3 金銭管理の支援を受けられること
- 4 必要な医療がすぐに受けられること
- 5 経済的な保証があること
- 6 現在受けているサービスが継続されること
- 7 状況に合わせた必要な福祉サービスを受けられること
- 8 特になし
- 9 その他 ()

問52 その他ご意見やご要望があればご記入ください。(自由記述)

ご協力ありがとうございました。
 記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて
 令和8年2月16日(月曜日)までに投函してください。

保健福祉に関するアンケート調査 札幌市

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、障がいのある人の状況やご意見をお聞かせいただき、今後の障がい者施策の推進に役立てるために「保健福祉に関する調査」を実施することとしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は令和7年12月1日現在、障がい者手帳または特定医療費（指定難病）受給者証をお持ちの18歳未満の方から、無作為に抽出して、保護者様あてにお送りしたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方からご協力いただきました。

ご回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。
本調査票については、お子様に障がいがあることを明かしていないことも考慮し、保護者様あてにお送りしました。本アンケート調査票の取扱には、ご注意ください。なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたってのお願い・注意事項

- アンケート調査の回答方法は次の2種類があります。(1)か(2)のどちらか1つを選んで、令和8年2月16日までに回答してください。
 (1) この角紙に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函する。
 (切手は不要です。封筒にお名前を記入する必要もありません。)
- パソコンやスマートフォン等を使用し、右の二次元コードを読み取るか、<https://forms.gle/Js1EKrMunZqh66V29>にアクセスし、フォームの内容に沿って回答する。
- 封筒のカッコ書きのあて名(お子様)について、ご回答ください。(この調査票での「あなた」は、カッコ書きのあて名(お子様)ご本人のことで、)
- ご本人が年少の場合や、病気や障がいなどの理由で回答できない場合は、ご家族や介助者の人がご本人の立場に立ってご回答ください。
- わからない質問や答えたくない質問には無理に答えずに、次の質問に進んでください。
- 令和7年12月1日現在の状況でご回答ください。



ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川

電話：011-251-5181/FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について(札幌市公式ホームページ内)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7tyousa.html>

二次元コード:



この調査票で「あなた」とあるのは、(お子様)ご本人のことで、

1 あなたのこと、世帯の状況について

問1 あなたの性別に○をつけてください。

1 男	3 どちらでもない
2 女	4 回答しない

問2 あなたの年齢

歳 (令和7年12月1日現在)

問3 あなたは、現在どこで生活していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 家族の持ち家	5 学校の寮
2 民間のアパートなど	6 入所施設
3 市営住宅	7 病院に入院中
4 道営住宅、公園の住宅	8 その他()

問4 あなたが持っている障がい者手帳の種類はどれですか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

1 身体障害者手帳 1級	10 精神障害者保健福祉手帳 1級
2 身体障害者手帳 2級	11 精神障害者保健福祉手帳 2級
3 身体障害者手帳 3級	12 精神障害者保健福祉手帳 3級
4 身体障害者手帳 4級	13 自立支援医療 (精神通院医療受給者証)
5 身体障害者手帳 5級	14 特定医療費(指定難病)受給者証
6 身体障害者手帳 6級	または特定疾患医療受給者証
7 療育手帳 A(最重度または重度)	15 上記のいずれも持っていない
8 療育手帳 B(中度)	
9 療育手帳 B(軽度)	

問5 あなたの障がいや疾病で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 視覚障がい	19 統合失調症
2 聴覚障がい	20 気分障がい(うつ病、躁病など)
3 平衡機能障がい	21 中毒性精神障がい
4 音声・言語・そしゃく機能障がい	22 心因性精神障がい (心因反応、パニック障がい等)
5 肢体不自由(上肢)	23 パーソナリティ(人格)障がい
6 肢体不自由(下肢)	24 認知症
7 肢体不自由(体幹)	25 てんかん
8 脳病変による運動機能障がい(上肢)	26 自閉症、アスペルガー症候群を含む 広汎性発達障がい(自閉症スペクトラム)
9 脳病変による運動機能障がい(移動)	27 注意欠陥多動性障がい (注意欠如・多動性障がい)
10 心臓機能障がい	28 学習障がい (限局性学習障がい)
11 じん臓機能障がい	29 高次脳機能障がい
12 呼吸器機能障がい	30 難病
13 小腸機能障がい	31 化学物質過敏症
14 ぼうこう・直腸機能障がい	32 その他()
15 免疫機能障がい	
16 肝臓機能障がい	
17 知的障がい	
18 重症心身障がい	

問7 あなたの主な支援者はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。1～5を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。

記載例) ②母(40)代

1 父	()代
2 母	()代
3 兄弟姉妹	()代
4 祖父・祖母	()代
5 その他の親族	()代
6 入所している施設の人	
7 未成年後見人	
8 ホームヘルパーなどサービス事業所の人	
9 支援の必要はない	
10 いない	
11 その他()	

問6 家族のことについておしえてください。

(1) あなたは何人家族ですか。

あなたを含めて 人家族

(2) あなたがいっしょに住んでいる人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1 父	5 その他の親族
2 母	6 施設に入所中
3 兄弟姉妹	7 いない(ひとり暮らし)
4 祖父・祖母	8 その他()

2 あなたの生活の状況について

問8 あなたは、日常生活の中で、次の項目をひとりでできますか、また、介助が必要な場合には誰が支援していますか。それぞれの項目について、あてはまる記号（ア・イ）・番号（1～9）に○をつけてください。

	それぞれに○はひとつ		支援する人（それぞれに○はいくつでも）								
	ア	イ	父	母	兄弟姉妹	祖父や祖母	その他の親族	入所している施設の人	ホームヘルパーなどサービス事業所の人	その他	いない（ひとり暮らし）
家の中の移動	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
入浴	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
食事	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
トイレ	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
寝返り	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
着替えや洗顔、歯みがき、ひげ剃りなど	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
家族以外との意思の疎通	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
お金の管理	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9
薬の管理	ア	イ	1	2	3	4	5	6	7	8	9

問9 あなたが現在受けている医療の状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|---------|
| 1 医療的ケアを受けている（問10-1で示す医療的処置を受けている） | 【→問11へ】 |
| 2 服薬管理を受けている | |
| 3 訪問診療を受けている | |
| 4 訪問看護を受けている | |
| 5 定期的に通院している（診療・医療処置・カウンセリング等） | |
| 6 医療は受けていない | |
| 7 その他（ ） | |

【問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。】

問10-1 あなたが現在必要としている、医療的ケアの種類について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 人工呼吸器の管理 | 9 皮下注射 |
| 2 気管切開部の処置 | 10 血糖測定 |
| 3 鼻咽喉頭エアウェイの管理 | 11 継続的な透析 |
| 4 酸素療法 | 12 導尿 |
| 5 吸引（口鼻腔、気管内吸引） | 13 排便管理 |
| 6 ネブライザーの管理 | 14 痙攣時の座薬挿入等の措置 |
| 7 経管栄養 | 15 その他 |
| 8 中心静脈カテーテルの管理 | |

《問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。》

問10-2 あなたの医療的ケアを行っている人はだれですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。2～7を選んだ場合は、支援者の年代もお答えください。記載例) ③ 母 (40) 代

1	自分		
2	父	() 代
3	母	() 代
4	夫または妻(配偶者)	() 代
5	兄弟姉妹	() 代
6	祖父・祖母	() 代
7	その他の親族	() 代
8	入所している施設の人		
9	ホームヘルパーなどサービス事業所の人		
10	看護師		
11	その他	()

《問9で「1 医療的ケアを受けている」と回答した人にお聞きします。》

問10-3 小学校就学前のお子さんのいる保護者の方にお聞きします。医療的ケアを受けている小学校就学前のお子さんについて、定期的に保育所等を利用することを希望しますか。

1	希望する
2	希望しない
3	既に利用している

3 障がい福祉サービスについて

《みなさまにお聞きします。》

問11 あなたは現在、居宅介護などの障がい福祉サービス(障害者総合支援法)、児童発達支援などの障がい児通所支援(児童福祉法)を利用していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1	利用している【→問12へ】
2	利用していない【→問13へ】

※ なお、札幌市における障がい福祉サービスの詳細については、以下URLの「障がいのある方のための福祉ガイド2025」等をご参照ください。
<https://www.city.sapporo.jp/shogai/fukushi/guide/fukushiguide.html>



《問11で「1 利用している」と回答した人にお聞きします。》

問12 あなたは、現在受けている障がい福祉サービス(障害者総合支援法)または障がい児通所支援(児童福祉法)に満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○をつけてください。なお、複数のサービスを利用されている方は、最も利用頻度の高いサービスについてお答えください。

	満足している	おおむね満足している	あまり満足していない	満足していない
サービスの量	1	2	3	4
サービスの内容	1	2	3	4
サービスの質	1	2	3	4
事業所の対応(わかりやすく説明してくれるかなど)	1	2	3	4

《問11で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。》

問13 利用していない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 サービスを利用する必要がない |
| 2 身近な人からの支援がある |
| 3 利用したいサービスがない |
| 4 交通の便が悪い |
| 5 サービスを利用しようとしたが断られた |
| 6 利用するサービスを検討中 |
| 7 その他 () |

《問11で「2 利用していない」と回答した人にお聞きします。》

問14 現在、利用先を探していますか。

- | |
|---|
| 1 探している |
| 2 探していたが、サービス利用が必要な時期に間に合わなかったため、探すことをやめた |
| 3 探していたが、サービスを利用する必要がなくなったため、探すことをやめた |
| 4 探していない |

《みなさまにお聞きします。》

問15 サービスを利用しようとしたが断られたことはありますか。

- | |
|----------------------|
| 1 ない |
| 2 時々ある |
| 3 断られることが多い |
| 4 いつも断られる |
| 5 サービスを利用しようとしたことがない |

《みなさまにお聞きします。》

問16 次のサービスについて、あてはまるものがあれば○をつけてください。

	利用している	利用しようとしてできなかった (断られた) ことがある	現在、利用していないが、これから利用したい
児童発達支援	1	2	3
放課後等デイサービス	1	2	3
居宅介護	1	2	3
重度障害者等包括支援	1	2	3
短期入所	1	2	3
同行援護	1	2	3
行動援護	1	2	3
障害児相談支援	1	2	3

問17 あなたや保護者の方は、福祉サービスを利用しやすくするために、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 利用の手続きが簡単であること（利用手続きの簡素化）
- 2 早く利用が開始できること
- 3 サービスを利用する際の窓口がわかりやすいこと
- 4 相談支援事業所に相談しやすくなること
- 5 グループホームや施設に入所するまでの待機時間の短縮
- 6 本人の障がいなどに対応できる事業所が増えること
- 7 サービスが利用できる回数や時間が増えること
- 8 早朝・夜間・休日に利用できること
- 9 緊急時に対応してくれること
- 10 交通の便がよい場所でサービスを受けられること
- 11 希望に応じて柔軟な対応をしてくれること
- 12 利用者負担を見直すこと
- 13 プライバシーが守られること
- 14 ヘルパーや支援員が親切に対応してくれること（技術の向上）
- 15 利用できる事業所が見つかりやすいこと
- 16 その他（ ）

4 外出の状況について

《みなさまにお聞きます。》

問18 あなたが外出する目的は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------|--------------|
| 1 買い物 | 7 通院 |
| 2 友だちなどの家 | 8 施設などへの通所 |
| 3 あそび | 9 食事 |
| 4 スポーツ | 10 特に目的はない |
| 5 習い事 | 11 その他（ ） |
| 6 通学・通園 | 12 まったく外出しない |

問19 外出するときに困っていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 外出を介助してくれる人がいない
- 2 バリアフリー化されていない場所がある
- 3 交通機関が利用しにくい
- 4 駅や道路の案内や表示がわかりづらい
- 5 交通費がかかる
- 6 人の目が気になる
- 7 困った時に周囲の人が助けてくれない
- 8 外出中に体調が悪くなるのが不安である
- 9 特にない
- 10 その他（ ）

問20 あなたは今後、特にどの建物を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思えますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 市役所、区役所等の官公庁施設
- 2 公共交通機関（地下鉄・バス・市電）の駅や停留所、ターミナル等
- 3 学校
- 4 区民センター、地区センター、図書館、美術館、劇場等の文化教養施設
- 5 体育館、プール等の体育施設
- 6 病院、診療所等の医療施設
- 7 ホテル、旅館等の宿泊施設
- 8 百貨店、デパート
- 9 スーパーマーケット
- 10 コンビニエンスストア
- 11 飲食店
- 12 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思う建物はない
- 13 その他（ ）

《問20で「1～11」をひとつでも選んだ人にお聞きします》

問21 あなたは、問20で選択した建物について、今後、特にどの設備を優先してバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 建物への出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 2 建物内部の出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 3 建物内部の通路・廊下（段差の解消、幅の確保等）
- 4 階段（手すりの設置等）
- 5 エレベーター（車いすで使用しやすいエレベーター、音声案内の設置等）
- 6 トイレ（車いす使用者対応トイレの設置、多目的トイレ（注1）の設置等）
- 7 駐車場（車いす使用者対応駐車スペースの設置等）
- 8 駅への連絡（段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の設置等）
- 9 カラーユニバーサルデザイン（注2）による表示
- 10 カームダウンスペースの設置（注3）
- 11 文字情報の充実（点字や触知図の設置、分かりやすい表現等）
- 12 その他（ ）

注1 車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト（人工肛門等保有者）対応設備、オムツ換えシート、ベビーチェア、ユニバーサルシート、サニタリーボックスなどを備えたトイレのこと

注2 色覚の個人差を問わずより多くの人に利用しやすい情報等を提供するという考え方

注3 音や光などの外部の刺激を遮断し、気持ちを落ち着かせるための安全な空間

5 学校・日中の過ごし方などについて

《みなさまにお聞きします。》

問22 あなたは、平日の昼間を主にどこで過ごしていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 自宅で過ごしている
- 2 保育所、幼稚園、学校等に通っている
- 3 福祉施設に通所・入所している
- 4 祖父母や親戚の家で過ごしている
- 5 その他（ ）

問23 あなたが参加している活動や通っている場所について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 習い事
- 2 学習塾
- 3 放課後児童クラブ（児童会館等）
- 4 その他（ ）
- 5 特に参加していない

問24 あなたは将来、どのような場所で生活したいですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 家族または自分の持ち家 | 5 グループホーム |
| 2 民間のアパートなど | 6 入所施設（障害者支援施設） |
| 3 市営住宅 | 7 わからない |
| 4 道営住宅、公団の住宅 | 8 その他（ ） |

問25 保護者の方にお聞きします。今後の教育や療育について、どのような点に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 義務教育前の通園施設の整備
- 2 義務教育前の入所施設の整備
- 3 通常の学級、保育所、幼稚園への受入れ体制の充実
- 4 通園、通学時の介助支援
- 5 障がいに応じた教育内容の充実
- 6 特別支援学校の整備
- 7 特別支援学級の整備
- 8 義務教育中の入所施設の整備
- 9 放課後対策の充実
- 10 義務教育終了後の通所施設の整備
- 11 義務教育終了後の入所施設の整備
- 12 義務教育終了後の進路（就職先など）の確保
- 13 さまざまな相談を受けられる体制の整備
- 14 保護者を支援する体制の整備
- 15 その他（ ）

6 防災について

《みなさまにお聞きます。》

問26 あなたは、災害時に手助けしてくれる人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 父
- 2 母
- 3 兄弟姉妹
- 4 祖父・祖母
- 5 その他の親族
- 6 入所している施設の人
- 7 未成年後見人
- 8 ホームヘルパーなどサービス事業所の人
- 9 友人
- 10 近所の人
- 11 民生委員・児童委員
- 12 いない
- 13 その他 ()

問27 あなたは、あらかじめ近所の人やボランティアに避難の手伝いをお願いすることをどのように思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 個人情報の提供には抵抗がなく、手伝ってほしい
- 2 個人情報の提供には抵抗があるが、手伝ってほしい
- 3 個人情報の提供には抵抗がないが、手伝ってほしくない
- 4 個人情報の提供には抵抗があるので、手伝ってほしくない
- 5 ひとりで避難できるので、協力は必要ない
- 6 家族や知人に手伝ってもらえるので、協力は必要ない
- 7 今は必要ないが、将来的には手伝ってほしい
- 8 わからない
- 9 その他 ()

問28 保護者の方にお聞きます。洪水や土砂災害の恐れがある場合、自治体から避難情報が発令される前の段階で、避難を希望しますか。

- 1 希望する
- 2 希望しない

問29 あなたや保護者の方は、地震などの災害への備えとして、普段どのようなことをしていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家具やガラス類の安全対策
- 2 食料や飲料水の備え（3日間以上）
- 3 身分証（障がい者手帳や緊急連絡先カードなど）の携帯
- 4 非常持出品（食料、飲料水、救急セットなど）の用意
- 5 白旗の近所付き合い
- 6 地域の防災訓練への参加
- 7 自宅の安全性をハザードマップ等で確認しておく
- 8 避難場所・避難経路の把握
- 9 災害時、避難を手伝ってくれる人を決めてある
- 10 いつも飲んでいる薬や医療機器（酸素ボンベなど）の用意
- 11 非常用電源の用意
- 12 札幌市防災アプリ「そなえ」（注1）のダウンロード
- 13 札幌市危機管理局「X」（旧Twitter）のフォロー
- 14 特に備えをしていない
- 15 その他 ()

注1 避難場所がどこにあるかなどを確認できるスマートフォン用防災アプリのこと

問30 あなたや保護者の方は、防災に関して不安に感じていることはありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 災害発生時に手助けしてくれる人がいない
- 2 災害発生時にどのような行動をしてよいのか分からない
- 3 災害の情報や避難場所がどこにあるかなどの情報を十分に得られない
- 4 避難経路・避難場所がバリアフリーになっていない
- 5 避難場所で必要な支援を受けられるか不安
- 6 慣れた場所（自宅等）以外で過ごすことが不安
- 7 特に不安は感じていない
- 8 その他 ()

問31 避難場所について、あなたや保護者の方が望んでいることは、どのようなことでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一般避難場所（注1）で、福祉避難スペース（注2）を確保してほしい
- 2 一般避難場所で、十分な飲用水や食料などを確保してほしい
- 3 一般避難場所に、福祉の相談員を配置してほしい
- 4 一般避難場所で、障がいの特性や程度に配慮した対応をしてほしい
- 5 一般避難場所の経路やトイレを障がい者に配慮したものにしてほしい
- 6 福祉避難所（注3）を増やしてほしい
- 7 福祉避難所で受けることができる支援等についてあらかじめ周知してほしい
- 8 望んでいることはない
- 9 その他（ ）

注1 避難者が一時的に滞在する場所（市立小中学校等）のこと
 注2 一般避難場所で空き教室などに設けられる要配慮者向けのスペースのこと
 注3 特に配慮を要する方々のために設置される避難所のこと（要配慮者二次避難所を指す。）

問32 あなたや保護者の方は、あなたが避難のためにどのような避難行動をとればよいのかについて、行政や地域が、計画を立てることを希望しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 希望する
- 2 手助けをしてくれる人がいるので希望しない
- 3 個人情報や管理されたくないため希望しない
- 4 その他（ ）

7 文化・芸術について

《みなさまにお聞きします。》

問33 あなたは過去1年間に文化芸術を直接鑑賞しましたか。また、鑑賞した種類はどのようなものですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽（オペラ、オーケストラ、室内楽、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップス、ロック、歌謡曲など）
- 2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、書、写真など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンス、コンテンポラリーダンスなど）
- 5 映画（アニメを除く）
- 6 アニメ映画、コンピューターや映像を活用したアート（メディアアートなど）
- 7 伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）
- 8 芸能（講談、落語、浪曲、漫才など）
- 9 歴史的な建物や遺跡（建造物、遺跡、名勝地（庭園など）の文化財）
- 10 わからない
- 11 その他（ ）
- 12 鑑賞したものはなし

《みなさまにお聞きします。》

問34 あなたは過去1年間に文化芸術に関わる活動を実施しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 音楽の演奏や合唱
- 2 美術作品の創作（絵画、陶芸、書道など）
- 3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）
- 4 舞踊（ダンス、バレエなど）
- 5 文学作品の創作（詩、小説など）
- 6 茶道・華道
- 7 地域の芸能や祭りへの参加
- 8 その他（ ）
- 9 活動していない

《みなさまにお聞きします。》

問35 あなたや保護者の方は、障がいのある人による文化芸術活動の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 文化芸術施設のバリアフリー情報を周知する
- 2 文化芸術施設のバリアフリー化を進める
- 3 作品等を発表する機会を増やす
- 4 芸術価値が高い作品等を適正に評価する
- 5 著作権等権利保護の推進
- 6 作品等の創作・発表を支援する
- 7 芸術上価値が高い作品等の販売に係る支援
- 8 文化芸術活動を通じた交流の機会を増やす
- 9 文化芸術に関する相談体制を整える
- 10 文化芸術活動を支援してくれる人材の育成（通訳、送迎、サポーター）
- 11 文化芸術に関する催しを行う主催者等の障がい理解の促進
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

8

読書について

《みなさまにお聞きします。》

※以下の設問について、「読書」には一般書籍のほか、新聞やオーディオブックを含みますが、漫画は含みません。

問36 あなたは過去1年間に読書をしましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 読書をした
- 2 読書をしていない

《みなさまにお聞きします。》

問37 あなたは、障がいのある人の読書の推進について、何が必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 点字図書等の読書のバリアフリー情報を周知する
- 2 点字図書等の読書のバリアフリー化を進める
- 3 読書に興味を持てる機会を増やす
- 4 その人にあった本を選んでくれる人を育成する
- 5 本を代読してくれる人を育成する
- 6 読書を補助するための、拡大読書機や音声読み上げ機器を増やす
- 7 図書館等に個室を用意する
- 8 本の配達をする
- 9 電子図書を充実する
- 10 オーディオブックを充実させる
- 11 書店や図書館をバリアフリー化する
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

9

制度や政策等について

《みなさまにお聞きします。》

問38 あなたや保護者の方は、札幌市が障がいのある子どもが暮らしやすいまちだと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 そう思う
- 2 まあそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 まったく思わない

問39 あなたや保護者の方は、障がいのある人に対する市民の理解が深まってきていると思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 深まっていると思う
- 2 まあまあ深まっていると思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 まったく思わない

問40 あなたや保護者の方は、過去3年間に、障がいがあるために差別をうけるなど、いやな思いをしたことがありますか。

- 1 ある 【→問41へ】
- 2 ない 【→問42へ】

《問40で「1 ある」と回答した人にお聞きします。》

問41 それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 じろじろ見られた
- 2 いやなことを言われた
- 3 暴力をふるわれた
- 4 仲間はずれにされた
- 5 施設の利用、交通機関への乗車、サービスの利用等の際、順番を後回しにされたことや、拒否されたこと等の不当な扱いを受けたことがある。
- 6 病院で円滑に診療を受けられなかった
- 7 その他（ ）

《みなさまにお聞きします。》

問42 札幌市では、「ヘルプマーク」を配布しております。これは、外見からは障がいがあることがわからない人などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なることを知らせることができるマーク（赤地に白色の★と♥）です。あなたや保護者の方は、このマークがあることを知っていたり、持っていたりしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 マークの意味も含めて知っていた【→問44へ】
- 2 詳しい意味は知らなかったが、名前を聞いたことや見たことがあった【→問44へ】
- 3 持ち歩いている【→問43へ】
- 4 持っているが持ち歩いていない【→問44へ】
- 5 知らなかった【→問44へ】

《問42で「3 持ち歩いている」と回答した人にお聞きします。》

問43 あなたはヘルプマークは役に立っていると認めますか。

- 1 役に立っている
- 2 役に立っていない
- 3 どちらともいえない

《みなさまにお聞きします。》

問44 あなたや保護者の方は、障がいまたは障がい福祉サービスの情報をどのように入手していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 行政機関の広報誌
- 3 インターネット（パソコン）
- 4 インターネット（スマートフォン等の携帯端末）
- 5 家族や親せき、友人・知人
- 6 未成年後見人
- 7 相談支援事業所などの民間の相談窓口
- 8 福祉サービス事業所の人や施設職員
- 9 障がい者団体等（家族会、患者会、各団体の機関紙を含む）
- 10 かかりつけの医師や看護師
- 11 病院のソーシャルワーカー（相談員）
- 12 民生委員・児童委員
- 13 通園施設や保育所等、認定こども園、幼稚園、学校の先生
- 14 行政機関の相談窓口
- 15 入手していない
- 16 その他（ ）

問45 あなたや保護者の方は、情報入手する上で、どのような配慮があると良いと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 さまざまな媒体（音声、点字、テキストデータなど）での提供
- 2 誰もが読みやすい文字などの使用
- 3 誰もが見やすい色の使用
- 4 問い合わせ先は電話番号だけでなく、ファクスやメールアドレスも記載
- 5 SNS（注1）での情報発信（注2）facebookやX（旧twitter）など
- 6 手話、筆談での対応ができる人材
- 7 わかりやすい文言・表現・絵文字（ピクトグラム）の使用
- 8 動画などでの資料の作成
- 9 必要な情報を分かりやすく説明してくれる人材
- 10 必要な情報を遅れずに提供
- 11 特になし
- 12 わからない
- 13 その他（ ）

問46 あなたや保護者の方は、困ったことがあった時、誰に相談していますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 家族
- 2 友人
- 3 近所の人
- 4 ヘルパー等サービス事業所の人
- 5 成年後見人・保佐人・補助人・任意後見人
- 6 区役所
- 7 相談支援事業所
- 8 かかりつけの医師や看護師
- 9 病院のソーシャルワーカー（相談員）
- 10 通園施設や保育所等、認定こども園、幼稚園、学校の先生
- 11 相談先がわからない
- 12 相談する相手がない
- 13 相談の必要がない
- 14 相談することを諦めている
- 15 その他（ ）

問47 あなたや保護者の方は、相談機関に関して、どのようなことがあれば、利用しやすいと思いますか。あてはまるものをすべてに○をつけてください。

- 1 身近な相談機関が増えること
- 2 長時間待つことなく相談に応じてくれること
- 3 相談員等の専門性を高めること
- 4 インターネットやSNS（注1）を通して利用できること
- 5 プライバシーを守ってくれること
- 6 夜間・緊急時に対応してくれること
- 7 特になし
- 8 その他（ ）

注1 FacebookやX（旧Twitter）などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

問48 あなたや保護者の方は、今後あなたが希望する生活をするためには、何があればよいと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 ホームヘルプサービスや通所サービスが充実すること
- 2 外出に関する支援が充実すること
- 3 建物のバリアフリー化が進むこと
- 4 家族が介助できない時などに利用する短期入所施設等が充実すること
- 5 重度の障がい者や医療的ケアが必要な人のサービスが充実すること
- 6 補装具や日常生活用具など福祉用具が充実すること
- 7 年金や手当、経済的な負担軽減
- 8 金銭管理や家計管理の支援
- 9 医療やリハビリテーションの充実
- 10 住まいの場が充実すること
- 11 住まいのバリアフリー化が進むこと
- 12 スポーツ、レクリエーション、文化活動の充実
- 13 仕事や作業の場が充実すること
- 14 まわりの人が自分の障がいを理解してくれること
- 15 障がいに対する偏見をなくし理解が深まるための啓発
- 16 生活するのに必要なことを練習できる場所があること
- 17 困ったときに相談事を聞いてくれて助言してくれること
- 18 必要な情報を簡単に入手することができること
- 19 高齢になっても安心して生活できること
- 20 代議代筆サービスの充実
- 21 代議代筆サービス以外の、コミュニケーションに関する支援が充実すること
- 22 居宅介護の支給量の増加
- 23 特になし
- 24 その他（ ）

問49 その他、ご意見やご要望があればご記入ください。



ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて

令和8年2月16日（月曜日）までに投函してください。

保健福祉に関する施設入所者アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、施設入所者の状況などをお聞きする調査を行うことといたしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は、札幌市で指定を受けている全ての施設入所支援事業所に、送信させていただいたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方から御協力いただきました。

回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたって

- ① A～Oは、令和7年12月1日時点において、札幌市が援護の実施機関となっている入所者（札幌市の障害福祉サービス受給者証を持っている方）について、入所者ごとに連番番号を付してお答えください（氏名の記入は必要ありません）。〈直接入力〉項目は、該当項目に直接回答を入力していただき、〈コード入力〉は、該当項目の「コード欄」にコード表「区分」のコードを入力してください。
- ② 回答は、添付のエクセルファイルに回答を入力の上メールで送信、または下記のURLまたは二次元コードからそれぞれアクセスし、フォームの内容に沿って、令和8年2月16日までに回答してください。

※入所者に関する設問は、入所者の人数分の回答を送信していただき、施設に関する設問は、1度だけ回答を送信してください。

【入所者に関する設問】：<https://forms.gle/WFDvH6aopaCeUACSA>

【施設に関する設問】：<https://forms.gle/Hyx8uH75yGySQkPY7>



【入所者に関する設問】



【施設に関する設問】

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川

電話：011-251-5181 / FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について（札幌市公式ホームページ内）

URL：<https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7vousa.html> 二次元コード：



施設名

A 年齢区分<直接入力>

令和7年12月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分<コード入力>

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	どちらでもない
4	回答しない

C 入所期間区分<コード入力>

入所期間を次の区分により記入してください。

区分	入所期間
1	1年未満
2	1年～3年未満
3	3年～5年未満
4	5年～10年未満
5	10年～20年未満
6	20年～30年未満
7	30年以上

D 障がい等級区分<コード入力>

障がい等級（総合等級）等を次の区分により記入してください。

（複数回答可。主たる障がいから順に記入してください。）

区分	等級	区分	等級
1	身体障害者手帳1級	9	療育手帳B（軽度）
2	身体障害者手帳2級	10	精神障害者保健福祉手帳1級
3	身体障害者手帳3級	11	精神障害者保健福祉手帳2級
4	身体障害者手帳4級	12	精神障害者保健福祉手帳3級
5	身体障害者手帳5級	13	自立支援医療（精神通院医療受給者証）
6	身体障害者手帳6級	14	特定疾病療養受療証
7	療育手帳A（最重度・重度）	15	重症心身障がい
8	療育手帳B（中度）		

<<Dの回答が「1～6」「15」にあてはまる場合のみ記入してください。>>

E 障がい部位区分<コード入力>

障がい部位を次の区分により記入してください。
(複数回答可。主たる障がい部位から順に記入してください。)

区分	部位	区分	部位
1	視覚	9	脳病変による運動機能(移動)
2	聴覚	10	心臓機能
3	平衡機能	11	じん臓機能
4	音声・言語・そしゃく機能	12	呼吸器機能
5	上肢	13	ぼうこう・直腸機能
6	下肢	14	小腸機能
7	体幹	15	免疫機能
8	脳病変による運動機能(上肢)	16	肝臓機能

F 障害者総合支援法による障害支援区分<コード入力>

障害者総合支援法による障害支援区分の認定状況を記入してください。

区分	等級	区分	等級
1	区分1	5	区分5
2	区分2	6	区分6
3	区分3	7	非該当
4	区分4	8	未認定・認定申請中

G 行動区分<コード入力>

よく見られる行動のうち、3つまで選んで、次の区分により記入してください。

区分	行動
1	特定の物や人に対する強いこだわり
2	多動または行動の停止
3	パニックや不安定な行動
4	自分の身体を叩いたり傷つけたりする
5	叩いたり蹴ったり器物を壊したりする
6	人に突然抱きつく、断りもなく物を持ってくる
7	ときどき奇声を発することがある
8	突然走っていなくなるような突発的行動
9	過食・反すうなどの食事に関する行動
10	上記のような行動は特にみられない

H～Jは、入所者ご自身の意向や希望をお聞きするものです。可能な限りご本人にご確認のうえ回答してください。

H 施設を退所して、施設以外の場所で生活したいと思うか<コード入力>

地域生活への意向・希望について次の区分により記入してください。

区分	地域生活移行
1	退所が決まっている【→I・Jへ】
2	退所して施設以外の場所で暮らしたいと思っている(言葉や態度ではっきり示している)【→I・Jへ】
3	施設以外での生活に関心がある・興味を示している【→I・Jへ】
4	退所をしたいと思っていない(言葉や態度ではっきり示している)【→Kへ】
5	時によって意向が異なる【→Kへ】
6	不明【→Kへ】

<<Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。>>

I 希望する居住形態区分<コード入力>

希望する居住形態について次の区分により記入してください。

区分	居住形態
1	持ち家
2	民間の賃貸住宅
3	公営住宅、公団住宅
4	福祉ホーム、グループホーム等
5	その他
6	不明

<<Hの回答が「1」～「3」の場合のみ記入してください。>>

J 希望する日中活動区分<コード入力>

希望する日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	通所施設で訓練や作業をしたい
2	一般就労したい
3	その他
4	不明

K～Nは、入所者の意向とは別に客観的に回答してください。

K 退所の可能性区分<コード入力>

退所の可能性について次の区分により記入してください。

区分	退所の可能性
1	退所が決まっている【→L・M・Nへ】
2	居住先・支援が整えば、現在の状況でも退所が可能【→L・M・Nへ】
3	現時点では引き続き施設での訓練が必要であるが、長期的（令和5年度末まで）には可能性がある【→Oへ】
4	現時点では退所の可能性がない・見通しが立たない【→Oへ】

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

L 退所後の訪問系サービス区分<コード入力>

退所後に必要となると思われる訪問系サービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

区分	訪問系サービス
1	居宅介護・重度訪問介護
2	同行援護・行動援護・移動支援
3	短期入所・日中一時支援
4	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

M 退所後の日中活動区分<コード入力>

退所後にふさわしいと思われる日中活動について次の区分により記入してください。

区分	日中活動
1	生活介護
2	自立訓練
3	就労移行支援
4	就労継続支援（A型）
5	就労継続支援（B型）
6	地域活動支援センター・地域共同作業所
7	一般就労
8	その他

<<Kの回答が「1」「2」の場合のみ記入してください。>>

N 退所後のその他のサービス区分<コード入力>

退所後に必要となるその他のサービスについて次の区分により記入してください。（複数回答可）

区分	その他のサービス
1	相談支援事業（日常生活相談など）
2	入居等支援事業（入居時・入居後の支援）
3	理学療法・作業療法
4	職業訓練やジョブコーチ・ジョブサポーター
5	補装具・日常生活用具
6	自立生活援助
7	成年後見人
8	その他

<<全ての入所者について記入してください。>>

O 退所に向けての問題点（不安な点）区分<コード入力>

退所に向けての問題点（不安な点）について次の区分で記入してください。（複数回答可）

(1) 本人の状態像

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	退所に向けた意識が乏しい
2	環境変化への不安が強い
3	（援助者等との）対人関係の形成が困難（コミュニケーションがうまく取れないなど）
4	介護や見守り等の支援が常時必要である
5	医療的な面で注意が必要である
6	家事（調理、洗濯等）や金銭管理ができない
7	地域生活の経験が乏しく、IADLを高める訓練が必要である
8	退所したいかどうか、本人の意思が確認できない
9	1～8 以外の問題点がある
10	特に問題はない

(2) 家族の状況

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	家族がいない（家族によるサポートがまったく期待できない）
2	家族が退所に反対している
3	本人の退所に対する家族の考え方は不明である
4	1～3 以外の問題点がある
5	退所に向けて、家族の積極的なかわり（支援）が期待でき問題はない

(3) 地域の状況（地域生活を支える周辺環境）

区分	退所に向けての問題点（不安な点）
1	住まいの確保が困難（本人の障がい合ったバリアフリー住宅が見つからない、グループホーム等に空きがない、保証人が見つからないなど）
2	訪問系サービス（居宅介護など）を十分に受けることができないという不安がある
3	外出時の支援を十分に受けることができないという不安がある
4	夜間や緊急時の支援を十分に受けることができないという不安がある
5	就職先や日中活動の場を見つけることが難しい
6	退所後のサービスの調整や日常的な相談を行ってくれる事業所等が見つからない
7	退所時のサポートをしてくれる支援者を確保することが難しい
8	一度退所すると再入所できないのではないかと不安がある
9	生活費が十分でない
10	金銭管理や契約等の面で不安がある（財産や権利が守れるかどうか不安がある）
11	服薬管理等を含めた適切な医療ケアを受けられるかどうか不安がある
12	後見人がいないため、不安がある
13	1～12 以外の問題点がある
14	特に問題はない

以下の区分は、施設の取組などに関する設問です。

P 市外入所者の退所後の生活希望区分<直接入力>

市外からの入所者（援護の実施機関が札幌市以外の人）のうち、退所後も札幌市で生活することを希望している人は、何人いますか。（市外からの入所者数と併せてお答えください。）

Q 退所に向けての支援区分<コード入力>

入所者の退所に向けて行っている支援について次の区分で記入してください。（複数回答可）

区分	退所に向けての支援
1	入所者に対して、定期的に退所に関する説明、調査等をしている
2	施設内において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
3	施設外において、退所支援実習等（退所後の生活の体験実習）を実施している
4	退所予定者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
5	退所者に対して、（退所後の生活に関する）相談支援を実施している
6	相談支援事業所、サービス提供事業所などの関係機関と定期的な連絡をするなど連携を取っている
7	1～6 以外の支援を行っている

R 退所目標数区分<直接入力>

今後、毎年1年間の退所者の目標数を記入してください。

S 自由記載<直接入力>

入所者の地域生活移行について、工夫していること、課題に感じていること、ご意見等があれば、ご自由に記入してください。

T 貴施設の待機人数<直接入力>

貴施設における、入所待機者の人数を記入してください。

札幌市

保健福祉に関する精神科病院入院患者アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、精神科病院に1年以上入院されている方の状況などをお聞きする調査を行うこといたしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は、札幌市内の全ての精神科病院に、送信させていただいたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方から御協力いただきました。

回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたって

- ① この調査は、令和7年12月1日0時時点で精神科病院に1年以上入院している方が対象です。
- ② 回答は、病院のスタッフの方が添付のエクセルファイルに回答を入力の上メールで送信、または右の二次元コードを読み取るか、【<https://forms.gle/7tR8IA2jtrPcJEks8>】にアクセスし、フォームの内容に沿って令和8年2月16日までに回答してください。
- ③ 令和7年12月1日現在の状況でご回答ください。



ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川

電話：011-251-5181/FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について(札幌市公式ホームページ内)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7yousa.html> 二次元コード：



※各設問、その他については自由記載欄を設ける（アンケート回答画面にて）

A 年齢区分<直接入力>

令和7年12月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分<コード入力>

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	どちらでもない
4	回答しない

C 精神障害者保健福祉手帳等区分<コード入力>

ご本人が持っている障害者手帳等の種類はどれですか。次の区分により記入してください。(複数回答可)

区分	等級
1	精神障害者保健福祉手帳1級
2	精神障害者保健福祉手帳2級
3	精神障害者保健福祉手帳3級
4	療育手帳A（最重度・重度）
5	療育手帳B（中度）
6	療育手帳B（軽度）
7	身体障害者手帳1級
8	身体障害者手帳2級
9	身体障害者手帳3級
10	身体障害者手帳4級
11	身体障害者手帳5級
12	身体障害者手帳6級
13	手帳等なし

D 入院形態区分<コード入力>

入院形態を次の区分より記入してください。

区分	入院形態
1	措置入院
2	医療保護入院
3	任意入院

E 疾患名区分<コード入力>

疾患名を次の区分により記入してください（厚生労働省調査と同じ区分です）。

区分	疾患名（表示）	疾患名
1	F 0 0	アルツハイマー病型の認知症
2	F 0 1	血管性認知症
3	F 0 2～0 9	アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を含む器質性精神障害
4	F 1 0	アルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害
5	覚せい剤	覚醒剤による精神及び行動の障害
6	その他精神・行動障害	アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害
7	F 2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害
8	F 3	気分（感情）障害
9	F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
10	F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
11	F 6	成人の人格及び行動の障害
12	F 7	知的障害（精神遅滞）
13	F 8	心理的発達障害
14	F 9	小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害
15	詳細不明の精神障害	詳細不明の精神障害
16	てんかん	てんかん（F 0 0に属さないもの）
17	その他	その他

F 在院期間区分<コード入力>

在院期間を次の区分により記入してください。

区分	在院期間
1	1年～1年6か月未満
2	1年6か月～2年未満
3	2年～3年未満
4	3年～5年未満
5	5年～10年未満
6	10年～20年未満
7	20年以上

G 症状区分<コード入力>

症状を次の区分で記入してください。

区分	症状
1	調査日には退院日が確定している
2	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難等の要因により、入院を継続する
3	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院が可能である
4	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する
5	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する

<<Gの回答が2～5の方について記入してください。>>

H 退院ができない要因<コード入力>

退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください（複数回答可）。

区分	要因
1	病状が不安定
2	病識がなく通院服薬の中断が予想される
3	退院意欲が乏しい
4	現実認識が乏しい
5	退院による環境変化への不安が強い
6	援助者との対人関係が持てない
7	家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない
8	家族がいない、本人をサポートする家族の機能が実質ない
9	家族から退院に反対がある
10	住まいの確保ができない
11	生活費の確保ができない
12	日常生活を支える制度が少ない
13	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい
14	その他

<<全ての患者について記入してください。>>

I 退院に向けての支援プログラム<コード入力>

病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください。(複数回答可)。

区分	支援プログラム
1	服薬の必要性を促す
2	社会生活技術の取得を促す
3	地域の社会資源情報を伝える
4	地域援助事業者等の紹介
5	ピアサポーターの活用
6	地域の通所施設への体験通所
7	外泊訓練
8	個別退院支援計画の作成
9	地域移行支援の活用
10	その他
11	特になし

[退院に向けての必要資源]

退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください。(複数回答可)。

J 住まいの確保区分<コード入力>

区分	住まい
1	一般住宅(家族との同居を含む)
2	グループホーム
3	宿泊型自立訓練
4	特別養護老人ホーム
5	養護老人ホーム
6	老人保健施設
7	障害者支援施設
8	その他
9	特になし

K 生活訓練区分<コード入力>

区分	生活訓練等
1	自立訓練(生活訓練)
2	グループホームへの体験入所
3	その他
4	特になし

L 生活支援区分<コード入力>

区分	生活支援等
1	ホームヘルプサービス
2	訪問看護サービス
3	自立生活援助
4	給食サービス
5	相談支援事業所による支援
6	ショートステイ
7	金銭管理サービス
8	その他
9	特になし

M 活動の場区分<コード入力>

区分	活動の場
1	就労できる場(就労支援サービス含む)
2	地域活動支援センター/地域共同作業所
3	生活介護
4	デイケア
5	自助グループ
6	その他
7	特になし

N 退院に向けての必要資源についての自由記載<直接入力>

アンケート調査票（精神科病院に入院されている方へ）

<この調査は、札幌市保健福祉局が、今後の福祉施策の参考資料とするために実施しています>

これは、1年以上の入院をされている方の「退院への希望」をお聞きするものです。

- 1 あてはまるものに○をつけてください。
- 2 設問を読んでご自分で記入できる場合は、ご自分で記入してください。
ご自分で記入できない場合は、職員の方が意思を確認して記入してください。

問1 あなたは、退院して、「病院以外の場所で」生活をしたいと思えますか。
あてはまるものに○をつけてください。

- 1 したい → 【問2】と【問3】をお答えください
- 2 したくない → 【問4】をお答えください
- 3 わからない → 【問5】と【問6】をお答えください

<<問1で「1 したい」と回答した方にお聞きします>>

問2 「病院以外の場所」はどこですか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 一般住宅
- 2 グループホーム
- 3 宿泊型自立訓練
- 4 高齢者施設
- 5 障害者支援施設
- 6 その他
- 7 特になし

<<問1で「1 したい」と回答した方にお聞きします>>

問3 退院に向けて準備していくとき、不安になることがあれば、どのようなことが不安になるかお書きください。

<<問1で「2 したくない」と回答した方にお聞きします>>

問4 退院をしたくない理由について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病状が不安定だから
- 2 薬の管理に自信がないから
- 3 退院して環境が変わることに不安があるから
- 4 家事（調理、洗濯、買い物等）に手助けが必要だから
- 5 生活費の管理に自信がないから
- 6 家族など、助けてくれる人がいないから
- 7 家族が退院に反対しているから
- 8 住む場所が見つからないから
- 9 生活費が足りないから
- 10 困ったときに相談できる場所がないから
- 11 その他

<<問1で「3 わからない」と回答した方にお聞きします>>

問5 退院に関する話を病院の職員としていますか？

あてはまるものに○をつけてください。

- 1 している
- 2 していない

<<問1で「3 わからない」と回答した方にお聞きします>>

問6 退院に関する話を誰かとしてしたいと思いますか？

- 1 思う
→ 誰としたいですか？（ ）
- 2 思わない

ご協力ありがとうございました。

保健福祉に関する市民意識アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、市民の皆様の、障がいのある方とのかかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は、札幌市内に住民登録をしている満18歳以上の方から無作為に抽出して、郵送させていただいたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方から御協力いただきました。

回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたってのお願い・注意事項

- アンケート調査の回答方法は次の2種類があります。(1)か(2)のどちらか1つを選んで、令和8年2月16日までに回答してください。
 - この用紙に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函する。
(切手は不要です。封筒にお名前を記入する必要はありません。)
 - パソコンやスマートフォン等を使用し、右の二次元コードを読み取るか、<https://forms.gle/rvWzHweQ2QpZq5ia6> にアクセスし、フォームの内容に沿って回答する。
- わからない質問や答えたくない質問には無理に答えずに、次の質問に選んでください。
- 令和7年12月1日現在の状況で記入してください。



ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川
電話：011-251-5181/FAX：011-222-2012
※本調査の目的や概要について(札幌市公式ホームページ内)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7tvousa.html>

二次元コード:



1 あなたのことについて

問1 あなたの性別に○をつけてください。

- | | |
|-----|-----------|
| 1 男 | 3 どちらでもない |
| 2 女 | 4 回答しない |

問2 あなたの年齢について、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 18歳～19歳 | 5 50歳～59歳 |
| 2 20歳～29歳 | 6 60歳～64歳 |
| 3 30歳～39歳 | 7 65歳～74歳 |
| 4 40歳～49歳 | 8 75歳以上 |

2 障がいのある方とのかかわりについて

問3 あなたの身近に障がいのある方はいますか、または、これまでいたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------|--------|
| 1 いる(いた) | 【→問4へ】 |
| 2 いない(いなかった) | 【→問5へ】 |

《問3で「1 いる(いた)」と回答した方にお聞きします。》

問4 あなたの身近にいる(いた)障がいのある方は、どのようなところにいますか(いましたか)。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|----------|
| 1 自分自身または家族などの身近な親族 | 5 隣近所 |
| 2 学校 | 6 趣味等の活動 |
| 3 自分の職場 | 7 その他() |
| 4 仕事関係(自分の職場以外) | |

《みなさまにお聞きします》

問5 あなたはこれまで、実際に障がいのある方と話したり、障がいのある方の手助けをしたりしたことがありますか(募金も含みます)。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--------------|
| 1 ある【→問6-1へ】 |
| 2 ない【→問7-1へ】 |

《問5で「1 ある」と回答した方にお聞きします。》

問6-1 どのような話や手助けを行いましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 席をゆずった | 8 一緒に遊んだ |
| 2 横断歩道や階段で手助けをした | 9 相談相手、話し相手 |
| 3 車いすを押した | 10 寄附や募金等の金銭的な援助 |
| 4 災害時の声かけや避難の手伝い | 11 募金を募る |
| 5 家事や買い物などの手伝い | 12 仕事をする上で手助けをした |
| 6 入浴や着替えなどの手伝い | 13 その他 () |
| 7 手話、点訳、音読、筆談など | |

問6-2 それは、どのような気持ちからでしょうか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--------------------------------|
| 1 身内等に障がいのある人がいて、その大変さを知っているから |
| 2 近所付き合いや親戚付き合いなどで |
| 3 困っているときはお互い様という気持ちから |
| 4 自分の仕事に関連して |
| 5 将来、自分も事故や病気などで障がいをもつかもしいから |
| 6 友人だから |
| 7 何となく |
| 8 その他 () |

《→問8へ進んでください。》

《問5で「2 ない」と回答した方にお聞きします。》

問7-1 それは、どうしてですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|----------------------|
| 1 手助けの方法がよくわからなかったから |
| 2 手助けをしようとしたら断られたから |
| 3 関心がないから |
| 4 そのような機会がなかったから |
| 5 その他 () |

問7-2 あなたは、困っている障がいのある方と出会った時に、どうしますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------------|
| 1 積極的に声をかけて、必要なことを手伝う |
| 2 声をかけられたら手伝う |
| 3 他の人が何か手伝えれば自分も手伝う |
| 4 手伝いたい気持ちはあるが勇気がだせない |
| 5 責任が持てないので関わらないようにする |
| 6 相手の態度による |
| 7 声をかけられないように逃げてしまう |
| 8 その時になってみないとわからない |
| 9 その他 () |

問7-3 あなたは今後、自分のできる範囲で、障がいのある方の手助けなどをしてみたいと思いますか。

あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|-----------------|
| 1 してみたい【→問7-4へ】 |
| 2 したくない【→問8へ】 |
| 3 わからない【→問8へ】 |

《問7-3で「1 してみたい」と回答した方にお聞きします。》

問7-4 それは、どのような手助けですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 席をゆずる | 8 一緒に遊ぶ |
| 2 横断歩道や階段での手助け | 9 相談相手、話し相手 |
| 3 車いすを押す | 10 寄附や募金等の金銭的な援助 |
| 4 災害時の声かけや避難の手伝い | 11 募金を募る活動 |
| 5 家事や買い物などの手伝い | 12 仕事をする上での手助け |
| 6 入浴や着替えなどの手伝い | 13 その他 () |
| 7 手話、点訳、音読、筆談など | |

3

障害者差別解消法について

《みなさまにお聞きます。》

問8 国や地方公共団体、民間事業者に、障がいのある方に対する差別的取扱いを禁止し、差別を解消するための措置などを規定した障害者差別解消法について知っていましたか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 法律の内容も含めて知っていた【→問9へ】
- 2 詳しい内容は知らないが、法律ができたことは聞いたことがあった【→問9へ】
- 3 知らなかった【→問10へ】

《問8で「1」または「2」と回答した方にお聞きます。》

問9 あなたは、「障害者差別解消法」を何で知りましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
- 2 札幌市のホームページ
- 3 札幌市のパンフレット
- 4 札幌市の広報誌
- 5 家族や親せき、友人・知人
- 6 福祉サービス事業所の人や施設職員
- 7 障がい者団体や家族会（団体の機関紙など）
- 8 行政機関の相談窓口
- 9 インターネット
- 10 SNS（注1）
- 11 その他（ ）

注1 FacebookやX（旧Twitter）などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《みなさまにお聞きます。》

問10 あなたは過去3年間に、障がいを理由とした差別を見たことや聞いたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ある 【→問11へ】
- 2 ない 【→問12へ】
- 3 わからない【→問12へ】

《問10で「1 ある」と回答した方にお聞きます。》

問11 それは、どのような内容でしたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 じろじろ見られていた
- 2 いやなことを言われていた
- 3 暴力をふるわれていた
- 4 仲間はずれにされていた
- 5 施設の利用、交通機関への乗車、サービスの利用等の際、順番を後回しにされていた、拒否されていた等の不当な扱いを受けていた。
- 6 病院で円滑に診療を受けられていなかった
- 7 その他（ ）

4

ボランティア活動について

《みなさまにお聞きます。》

問12 あなたは、障がいのある方に関わるボランティア活動をしたことがありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 現在、ボランティア活動をしている
- 2 ボランティア活動をしていたが、現在はしていない
- 3 今までにボランティア活動をしたことがない

問13 あなたは、今後、障がいのある方と関わるボランティア活動をしたいと思いますが、あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 したいと思う 【→問14へ】
- 2 したいと思わない【→問15へ】
- 3 わからない 【→問15へ】

《問13で「1 したいと思う」と回答した方にお聞きします。》

問14 それは、どのような活動ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|-----------------------|
| 1 | 家事のお手伝い |
| 2 | 買い物代行 |
| 3 | 諸手続き代行 |
| 4 | 話し相手 |
| 5 | スポーツ・レクリエーション活動を通じた交流 |
| 6 | 外出する時の付き添い |
| 7 | 募金活動 |
| 8 | 外出時の送迎（移送ボランティアなど） |
| 9 | 家や庭の手入れ |
| 10 | 除雪 |
| 11 | 本や情報誌などの点訳や朗読 |
| 12 | 手話通訳、要約筆記（注1） |
| 13 | 介助者が緊急で不在のときの支援 |
| 14 | 家族が外出したときの託児・見守り |
| 15 | その他（ ） |

注1 聴覚障がいのある方に、話されている内容を要約し、ノートやパソコンなどを使って、文字として伝えることです。

《みなさまにお聞きします。》

問15 あなたは、障がいのある方と関わるボランティア活動を活発にするために、どのようなことが必要だと思えますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----|--|
| 1 | ボランティアの募集に関する情報提供や相談窓口の充実 |
| 2 | 学校等でボランティア学習・体験活動を行う |
| 3 | ボランティア休暇・休学制度等、活動しやすい条件の整備 |
| 4 | ボランティア同士の交流の促進 |
| 5 | 保険加入や交通費等の支給 |
| 6 | NPO、ボランティアグループ等の育成 |
| 7 | 手話、要約筆記等の専門的講習の開催及び情報提供 |
| 8 | ボランティア活動者への感謝状等の社会的な評価 |
| 9 | ボランティア活動の制度・団体がたくさんあり、自分にあった活動を選びやすい環境 |
| 10 | SNS（注1）での情報発信 |
| 11 | わからない |
| 12 | その他（ ） |

注1 FacebookやX（旧Twitter）などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

《みなさまにお聞きます。》

問16～21 あなたは、下表にある施策等について、知っていましたか。それぞれの、あてはまるもの1つに○をつけてください。

	施策等の名称	意味も含めて知っている	詳しい意味は知らなかったが、名前は聞いたことがあった	知らなかった
問16	ヘルプマーク（注1）	1	2	3
問17	ヘルプカード（注2）	1	2	3
問18	札幌市障がい者コミュニケーション条例（注3）	1	2	3
問19	札幌市手話言語条例（注4）	1	2	3
問20	心のバリアフリー（注5）	1	2	3
問21	ヤングケアラー（注6）	1	2	3

注1 外見からは障がいがあることが分からない方などが、周囲の方々に援助や配慮が必要なことを知らせることができるマークのこと。（右図参照）



注2 緊急連絡先や必要な支援内容などを書くことができ、日常場面で困ったとき、緊急時などに周りの援助や配慮をお願いしやすくなるカードのこと。

注3 障がいの特性に応じた手段によって情報を取得し、コミュニケーションをしやすい環境を整備し、障がいのある方もない方も相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を実現することを目的に制定した条例。

注4 手話が言語であることについて、市民の理解促進を図り、手話が言語であるとの認識を普及することを目的に制定した条例。

注5 障がいのある人等に対し、必要以上に「かわいそう」、「かばってあげなければならぬ」と思ったりする、意識の中にある差別や偏見等の「心のバリア（障壁）」をなくし、思いやりをもって手助けしようとする考え方や行動のこと。

注6 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども

問22 あなたは、「心のバリアフリー」を推進し、障がいのある方に対する理解を深めるためには、どのような取組が必要だと思いますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 学校での子どもへの教育を充実する
- 2 地域での住民を対象とした学習会を充実する
- 3 イベント等を通じた障がいのある人と市民との交流の機会を充実する
- 4 テレビ・新聞などのマスメディアと連携した広報活動を充実する
- 5 SNS（注1）での情報発信
- 6 障がいのある方に対するボランティア活動の支援を充実する
- 7 市の広報誌等で、理解を深めるための啓発を推進する
- 8 障がい者団体の活動をPRする
- 9 障がいのある人による芸術活動を推進する
- 10 障がいのある人から話を聞く
- 11 障がいのある人と日常的に交流をする
- 12 駅や区民センター、図書館等での周知活動（パネル展示など）
- 13 その他（ ）

注1 FacebookやX（旧Twitter）などのソーシャル・ネットワーキング・サービスのこと

問23 あなたは、ヤングケアラーについて、どのような支援が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○を付けてください。

- 1 子ども自身がヤングケアラーについて知るための支援
- 2 保護者がヤングケアラーについて知るための支援
- 3 子どもに関わる大人がヤングケアラーについて知るための支援
- 4 学校などに専門職の配置が充実すること
- 5 ヤングケアラーを支援する団体が増えること
- 6 子ども自身が相談しやすい窓口を設置すること
- 7 ヤングケアラー全般について相談しやすい窓口を設置すること
- 8 特になし
- 9 わからない
- 10 その他（ ）

《みなさまにお聞きます。》

問24 あなたは、地震等の災害があったとき、近所に住む障がいのある方の手助けをしたいと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 可能な範囲で手助けをしたい【→問25へ】
- 2 手助けをしたいと思わない【→問26へ】
- 3 わからない【→問26へ】

《問24で「1 可能な範囲で手助けをしたい」と回答した方にお聞きます》

問25 あなたは、災害があったときに手助けできるよう、近所に住む障がいのある方のことを知っておきたいと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 知っておきたい
- 2 知っておきたいとは思わない
- 3 わからない

《みなさまにお聞きます。》

問26 あなたは、札幌市が、障がいのある方にとって地域で暮らしやすい都市であると思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 そう思う【→問28へ】
- 2 まあそう思う【→問28へ】
- 3 あまりそう思わない【→問27へ】
- 4 そう思わない【→問27へ】
- 5 どちらともいえない【→問28へ】
- 6 わからない【→問28へ】

《問26で「3 あまりそう思わない」「4 そう思わない」と回答した方にお聞きます。》

問27 そう思わない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 居宅介護（ホームヘルプサービス）等の在宅サービスが十分に提供されていないと感じる
- 2 障がいのある人が生活するに足る収入が確保されていない
- 3 障がいのある人に配慮した住宅、建物、交通機関などが不十分である
- 4 障がいのある人の就労が困難である
- 5 障がいのある人からの相談を受ける体制が整っていない
- 6 障がいのある人を地域全体で支える体制が整っていない
- 7 障がいのある人への差別や偏見が大きい
- 8 障がいのある人への理解が進んでいない
- 9 その他（ ）

《みなさまにお聞きます。》

問28 あなたは、3年前と比べて、福祉・教育・まちづくりなどの障がい者施策は進んだと思えますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 かなり進んだと思う
- 2 少し進んだと思う
- 3 あまり進んだと思わない
- 4 ほとんど進んだと思わない
- 5 どちらともいえない
- 6 わからない

問29 あなたは今後、特にどの建物を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 市役所、区役所等の官公庁施設
- 2 公共交通機関（地下鉄・バス・市電）の駅や停留所、ターミナル等
- 3 学校
- 4 区民センター、地区センター、図書館、美術館、劇場等の文化教養施設
- 5 体育館、プール等の体育施設
- 6 病院、診療所等の医療施設
- 7 ホテル、旅館等の宿泊施設
- 8 百貨店、デパート
- 9 スーパーマーケット
- 10 コンビニエンスストア
- 11 飲食店
- 12 職場
- 13 住宅
- 14 重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思う建物はない
- 15 その他（ ）

《問29で「14以外」を1つでも選んだ人にお聞きします。》

問30 あなたは、問29で選択した建物について、今後、特にどの設備を重点的にバリアフリーとしていくことが必要だと思いますか。あてはまるものを3つまで選んで○をつけてください。

- 1 建物への出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 2 建物内部の出入口（段差の解消、幅の確保等）
- 3 建物内部の通路・廊下（段差の解消、幅の確保等）
- 4 階段（手すりの設置等）
- 5 エレベーター（車いすで使用しやすいエレベーター、音声案内の設置等）
- 6 トイレ（車いす使用者対応トイレの設置、多機能トイレ（注1）の設置等）
- 7 駐車場（車いす使用者対応駐車スペースの設置等）
- 8 敷地内の通路（段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）の設置等）
- 9 カラーユニバーサルデザイン（注2）による表示
- 10 カームダウンスペースの設置（注3）
- 11 文字情報の充実（点字や触知図の設置、分かりやすい表現等）
- 12 その他（ ）

注1 車いす使用者が利用できる広さや手すりなどに加えて、オストメイト（人工肛門等保有者）対応設備、オムツ換えシート、ベビーチェア、ユニバーサルシート、サンタリーボックスなどを備えたトイレのこと

注2 色覚の個人差を問わず、より多くの人に利用しやすい情報等を提供するという考え方

注3 音や光などの外部の刺激を遮断し、気持ちを落ち着かせるための安全な空間

保健福祉に関するサービス事業所アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、事業所の運営状況、サービス提供体制などをお聞きする調査を行うことといたしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は、札幌市が指定している障害福祉サービス提供事業所の中から無作為に抽出して、送信させていただいたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回調査においても多くの方から御協力いただきました。

回答いただいた内容等につきましては、統計的に処理し、上記の目的以外には使用いたしません。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたって

- ① パソコンやスマートフォン等を使用し、右の二次元コードを読み取るか、[【https://forms.gle/PGmdPbTdGEZ1pZvd8】](https://forms.gle/PGmdPbTdGEZ1pZvd8)にアクセスし、フォームの内容に沿って、令和8年2月16日までに回答してください。



- ② 令和7年12月1日時点の状況でお答えください。

ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川
電話：011-251-5181 / FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について(札幌市公式ホームページ内)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7ivousa.html>

二次元コード：



法人名をご記入ください。

法人名	
事業所名をご記入ください。	
事業所名	
調査票のご記入・取りまとめを担当された方をご記入ください。	
氏名	
所属・役職	
連絡先TEL	

1 貴事業所について

(すべての事業所にお聞きします。)

問1 貴事業所が提供している障がい福祉サービス等をすべて選択してください。

1 居宅介護	17 就労定着支援
2 重度訪問介護	18 自立生活援助
3 行動援護	19 計画相談支援
4 重度障害者等包括支援	20 地域移行支援
5 同行援護	21 地域定着支援
6 療養介護	22 児童発達支援
7 生活介護	23 放課後等デイサービス
8 短期入所	24 医療型児童発達支援
9 施設入所支援	25 保育所等訪問支援
10 共同生活援助	26 居宅訪問型児童発達支援
11 宿泊型自立訓練	27 障害児入所支援
12 自立訓練(機能訓練)	28 医療型障害児入所支援
13 自立訓練(生活訓練)	29 障害児相談支援
14 就労移行支援	30 移動支援事業
15 就労継続支援A型	31 地域活動支援センター
16 就労継続支援B型	32 日中一時支援事業

問2 貴事業所の令和6年度事業収支状況はいかがでしたか。
あてはまるものを1つ選択してください。

1 黒字だった
2 収支がほぼ均衡した
3 赤字だった

問2-2 貴事業所の令和6年度事業収支状況は3年前と比べていかがでしたか。
あてはまるものを1つ選択してください。

1 良くなった
2 ほぼ同じだった
3 悪くなった
4 3年前はまだ事業を行っていなかった

問3 貴事業所で提供しているサービスを利用されている方は令和7年10月1日付
 けで何人ですか。サービス種別、障がい種別ごとにお答えください。

※「重度障がい」は重症心身障がい児者および強度行動障がい児者を指す

サービス種別	身体障がい	知的障がい	精神障がい	難病等	うち重度障がい
1 居宅介護	人	人	人	人	人
2 重度訪問介護	人	人	人	人	人
3 行動援護	人	人	人	人	人
4 重度障害者等包括支援	人	人	人	人	人
5 同行援護	人	人	人	人	人
6 療養介護	人	人	人	人	人
7 生活介護	人	人	人	人	人
8 短期入所	人	人	人	人	人
9 施設入所支援	人	人	人	人	人
10 共同生活援助	人	人	人	人	人
11 宿泊型自立訓練	人	人	人	人	人
12 自立訓練（機能訓練）	人	人	人	人	人
13 自立訓練（生活訓練）	人	人	人	人	人
14 就労移行支援	人	人	人	人	人
15 就労継続支援A型	人	人	人	人	人
16 就労継続支援B型	人	人	人	人	人
17 就労定着支援	人	人	人	人	人
18 自立生活援助	人	人	人	人	人
19 計画相談支援	人	人	人	人	人
20 地域移行支援	人	人	人	人	人
21 地域定着支援	人	人	人	人	人
22 児童発達支援	人	人	人	人	人
23 放課後等デイサービス	人	人	人	人	人
24 医療型児童発達支援	人	人	人	人	人
25 保育所等訪問支援	人	人	人	人	人
26 居宅訪問型児童発達支援	人	人	人	人	人
27 障害児入所支援	人	人	人	人	人
28 医療型障害児入所支援	人	人	人	人	人
29 障害児相談支援	人	人	人	人	人
30 移動支援事業	人	人	人	人	人
31 地域活動支援センター	人	人	人	人	人
32 日中一時支援事業	人	人	人	人	人

問4 生活介護、短期入所、共同生活援助、施設入所支援、障害児通所支援（児童発達
 支援及び放課後等デイサービス）を実施している事業所のみお答えください。

（令和7年10月1日現在）

	生活 介護	短期入所	共同生活援助 （グループホーム）	障害児通所支援
① 定員数				
② 道で受入可能な人数				
（うち重度障がい児者数）				
（うち強度行動障がい児者数）				

2 職員について

(すべての事業所にお聞きします。)

問5 貴事業所でサービスに携わる職員数は何人ですか。

勤続年数ごとに入力してください。

勤続年数	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
常勤職員	人	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人	人

問6 貴事業所の職員について、令和6年1月1日から令和6年12月31日までの1年間の採用者数と離職者数は何人でしたか。

※令和6年2月以降に事業を開始した場合は、事業開始日から令和6年12月31日までの採用者数と離職者数を入力してください。

	採用者数	離職者数	離職した職員の勤務年数	
			1年未満	3年未満
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

※1年未満の有期雇用契約による者を除く。

(採用者数に人数を記入した場合は、問6-2及び問6-3を、離職者数に人数を記入した場合は、問6-4を、採用者数と離職者数の両方に人数を記入した場合は、問6-2から問6-4の全てに、それぞれ回答してください。)

問6-2 問6で回答した採用者の採用時のキャリアについて、各状態の人数を入力してください。

採用時の状態	学生新卒	既卒・福祉未経験	既卒・福祉経験者だが障がい未経験	既卒・障がい福祉経験者
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

問6-3 問6で回答した採用者の学歴について、各状態の人数を入力してください。

学歴	大学院・大学・短大・専門学校(福祉系又は医療系)	大学院・大学・短大・専門学校(福祉系及び医療系以外)	高卒	その他
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

問6-4 問6で回答した離職者のうち、貴法人就職後3年以内に離職した職員の採用時のキャリアについて、各状態の人数を入力してください。

採用時の状態	学生新卒	既卒・福祉未経験	既卒・福祉経験者だが障がい未経験	既卒・福祉経験者
常勤職員	人	人	人	人
非常勤職員	人	人	人	人

問7 貴事業所では、目標とする職員数(人手)が充足できていますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 目標とする職員数を充足できている【→問10へ】
- 2 目標とする職員数は充足できていないが、業務をこなせる程度の人数は確保できている【→問8-1へ】
- 3 職員数が不足し、業務に支障が出ている【→問8-1へ】
- 4 職員数が大きく不足し、業務の継続が困難になってきている【→問8-1へ】

(問7で「2、3、4」を回答した事業所にお聞きします。)

問8-1 不足している職員は、どの職種が何人程度でしょうか。不足している各職種について、「○○の職種で△△人不足している」と記載してください。

問8-2 職員が不足していると感じる理由はどのようなものですか。

あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 離職率が高い(定着率が低い)ため【→問10へ】
- 2 採用が困難なため【→問9へ】
- 3 その他()【→問10へ】

(問8-2で「2」を回答した事業所にお聞きします。)

問9 採用が困難な原因はどこにあると思いますか。

あてはまるものを3つまで選択してください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 労働時間が長い | 7 (仕事内容の面で) 身体的負担が大きい |
| 2 夜勤が多い | 8 (仕事内容の面で) 精神的負担が大きい |
| 3 休みが取りにくい | 9 社会的評価が低い |
| 4 雇用が不安定 | 10 その他() |
| 5 キャリアアップの機会が不十分 | 11 わからない |
| 6 賃金が低い | |

(すべての事業所にお聞きします。)

問10 貴事業所では、職員が離職する原因はどこにあると思いますか。
あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 職場の人間関係に問題があった
- 2 他の職場、仕事に魅力があった
- 3 他の仕事と比べて賃金が低かった
- 4 キャリアアップの機会を与えられなかった
- 5 結婚・出産・妊娠・育児等のライフイベントに専念したかった
- 6 人員整理・退職勧奨・法人解散・事業不振等
- 7 家族の介護・看護
- 8 病気・高齢
- 9 定年・雇用期間満了
- 10 利用者、その家族等との人間関係に問題があった
- 11 その他 ()
- 12 わからない

問11 貴事業所では、人材育成のためにどのような取組をしていますか。
あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 事業所内で研修の実施・充実
- 2 外部研修等参加のための休暇取得の支援
- 3 外部研修等参加のための金銭的な支援
- 4 勤務条件(夜勤回数・勤務時間帯など)の改善
- 5 給与面での改善(ベースアップ、各種手当など)
- 6 福利厚生面での改善(有給休暇の取得向上、育休制度の充実)
- 7 昇給・昇格、勤務評価等を明確にした人事制度の導入
- 8 職員間の交流や意思疎通などの改善(風通しのよい職場づくり)
- 9 職場環境の改善等への職員意見の取り入れ
- 10 職員のメンタルケアの充実
- 11 資格取得にかかる費用の補助
- 12 資格取得に応じて昇給する仕組みを導入
- 13 その他 ()
- 14 特にしていない

問12 貴事業所では、人材確保のためにどのような手法をとっていますか。
あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 求人誌等に人材広告を掲載した
- 2 インターネットの求人サイトを利用した
- 3 人材募集のチラシを配布した
- 4 ハローワークを通じて募集した
- 5 福祉専門学校等で求人を行った
- 6 職員からの紹介を受けた
- 7 ボランティアを受け入れた
- 8 法人・事業所等のホームページで募集した
- 9 人材派遣を利用した
- 10 外国人労働者を受け入れた
- 11 その他 ()
- 12 特にしていない

問12-2 上記回答のうち、実際に効果があったのはどれですか。
あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 求人誌等に人材広告を掲載した
- 2 インターネットの求人サイトを利用した
- 3 人材募集のチラシを配布した
- 4 ハローワークを通じて募集した
- 5 福祉専門学校等で求人を行った
- 6 職員からの紹介を受けた
- 7 ボランティアを受け入れた
- 8 法人・事業所等のホームページで募集した
- 9 人材派遣を利用した
- 10 外国人労働者を受け入れた
- 11 その他 ()

問12-3 貴法人が人材を募集する際にアピールしていることはどのようなものですか。
あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 利用者の満足度が高い
- 2 従業者の満足度が高い
- 3 離職率が低い
- 4 有給休暇の取得率が高い
- 5 専門的な技術を身に着けることができる
- 6 資格取得について、勉強・費用・休暇など、バックアップする体制をとっている
- 7 基準よりも配置人員が多いため負担が少ない
- 8 福利厚生がしっかりしている
- 9 その他 ()

3 サービス提供について

(すべての事業所にお聞きします。)

問13 貴事業所では、サービスを提供するうえで、どのような課題がありますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 量的に、利用者の希望どおり提供できていない
- 2 質的に、利用者の希望どおり提供できていない
- 3 利用者や家族とのコミュニケーションが難しい
- 4 困難事例への対応が難しい
- 5 休日や夜間の対応が難しい
- 6 変更やキャンセルが多い
- 7 苦情やトラブルが多い
- 8 特にない
- 9 その他 ()

問14 貴事業所では、サービス利用について、利用者やご家族からどのような相談や苦情を受け付けていますか。あてはまるものを3つまで選択してください。

- 1 利用できる回数や日数が少ない
- 2 希望どおりの日に利用できない
- 3 サービスの質に不満がある
- 4 職員の対応に不満がある
- 5 利用したいサービスが利用できない
- 6 利用者負担が大きい(利用料が高い)
- 7 区役所等での手続きがわかりにくい
- 8 その他 ()
- 9 特にない

問15 貴事業所では、医療的ケアを受けている(=人工呼吸器等の医療器具を常時使用している、在宅で吸引、導尿等の医療的処置を受けている)利用者について、どのように対応していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 利用を全て断っている【→問16へ】
- 2 利用を断ることが多い【→問16へ】
- 3 ときどき利用を断ることがある【→問16へ】
- 4 利用を断ることはほとんどない【→問17へ】
- 5 利用の希望がない【→問17へ】

(問15で「1、2、3」を回答した事業所にお聞きします。)

問16 貴事業所で、医療的ケアを受けている利用者からの利用を断る理由は、どのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 給付費の関係で職員を十分に配置できない
- 2 募集しても職員を採用できず、人手が足りない
- 3 医療的ケアを行える職員がいない
- 4 対応するための知識・経験が足りない
- 5 対応するための設備(医療機器等)がない
- 6 受け入れた前例がほとんどない
- 7 その他 ()

(すべての事業所にお聞きします。)

問17 貴事業所では、重症心身障がい児者について、どのように対応していますか。あてはまるものを1つ選択してください

- 1 利用を全て断っている【→問18へ】
- 2 利用を断ることが多い【→問18へ】
- 3 ときどき利用を断ることがある【→問18へ】
- 4 利用を断ることはほとんどない【→問19へ】
- 5 利用の希望がない【→問19へ】

(問17で「1、2、3」を回答した事業所にお聞きします。)

問18 貴事業所で、重症心身障がい児者からの利用を断る理由は、どのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 給付費の関係で職員を十分に配置できない
- 2 募集しても職員を採用できず、人手が足りない
- 3 対応するための知識・経験が足りない
- 4 対応するための設備がない(必要な設備:)
- 5 受け入れた前例がほとんどない
- 6 その他 ()

(すべての事業所にお聞きします。)

問19 貴事業所では、強度行動障がい児者について、どのように対応していますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 利用を全て断っている【→問20へ】
- 2 利用を断ることが多い【→問20へ】
- 3 ときどき利用を断ることがある【→問20へ】
- 4 利用を断ることはほとんどない【→問21へ】
- 5 利用の希望がない【→問21へ】

(問19で「1、2、3」を回答した事業所にお聞きします。)

問20 貴事業所で、強度行動障がい児者からの利用を断る理由は、どのようなものですか。あてはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|-------------------------|---|
| 1 給付費の関係で職員を十分に配置できない | |
| 2 募集しても職員を採用できず、人手が足りない | |
| 3 対応するための知識・経験が足りない | |
| 4 対応するための設備がない(必要な設備: |) |
| 5 受け入れた前例がほとんどない | |
| 6 その他(|) |

(すべての事業所にお聞きします。)

問21 貴事業所では、今後、重度障がい者の受入人数を拡大するため、どのような行政からの支援が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選択してください。※ここで「重度障がい者」は、重症心身障がい児者または強度行動障がい者を指す。

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 施設の整備に係る支援 | |
| 2 職員(人手)の確保に係る支援 | |
| 3 重度障がい者の対応を行うことができる専門的人材の確保にかかる支援 | |
| 4 人件費に対する支援 | |
| 5 重度障がい者に対応するための設備整備にかかる支援 | |
| 6 特に支援は必要ない | |
| 7 その他(|) |

(就労移行支援事業所にお聞きします。)

問22 サービスの利用者は、これまでどのようなことをされていた方ですか。それぞれ人数をご記入ください。

特別支援学校等の卒業生	人
一般就労の離職者	人
就労継続支援からの移行者	人
自立訓練からの移行者	人
その他のサービス(生活介護等)からの移行者	人
在宅ですごしていた方	人
その他	人

(就労移行支援事業所にお聞きします。)

問23 昨年度1年間の退所者の進路について、人数をご記入ください。

一般就労	人
就労継続支援に移行	人
その他のサービス(生活介護等)に移行	人
その他	人

(すべての事業所にお聞きします。)

問24 ヤングケアラー(注1)という言葉を知っていましたか。

- | | |
|----------|--|
| 1 知っていた | |
| 2 知らなかった | |

注1 本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話を日常的に行っている子ども

問25 サービスを提供している中で、ヤングケアラーと思われるお子さんを発見したことがありますか。

- | | |
|--------------------|--|
| 1 発見したことがある【→問26へ】 | |
| 2 発見したことがない | |

(問25で「1」を回答した事業所にお聞きします。)

問26 貴事業所は、発見した時にどのような対応をしましたか。あてはまるものをすべて選択してください。

- | | |
|----------------------|---|
| 1 事業所内で情報を整理した | |
| 2 ケア対象者のサービス内容を見直した | |
| 3 外部の機関に連絡した(連絡した機関: |) |
| 4 特に対応していない | |
| 5 その他(|) |

4 事業所における災害対応・備えについて

(相談支援事業所・居宅系サービス事業所にお聞きします。)

問27 災害時に利用者が避難するための計画(要避難者の状況・避難先・避難支援者などをまとめたもの)の作成に協力できますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 作成に協力できる
- 2 利用者の情報があれば協力できる
- 3 報酬があれば協力できる
- 4 作成に協力できない
- 5 わからない

(日中活動系・居宅系サービス事業所にお聞きします。)

問28 洪水や土砂災害など、事前の避難が可能な警報の発令時や発令の恐れがある時、利用者の避難に協力することはできますか。あてはまるものを1つ選択してください。

- 1 避難に協力できる
- 2 警報発令前であれば協力できる
- 3 避難に協力できない
- 4 わからない

問29 貴事業所が現在、災害に備えていることはありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 停電に備えて電源を確保している(発電機、充電器、懐中電灯等)
- 2 水や食料、毛布などの備蓄
- 3 非常時の体制(参集方法、連絡方法等)の検討・共有
- 4 停電でも確認できる利用者情報の整備
- 5 利用者の安否確認方法の検討・共有
- 6 地域の事業者とのネットワークづくり
- 7 近隣住民とのネットワークづくり
- 8 利用者や家族に災害への備えを教える
- 9 利用者のうち、災害発生時に一時避難所への避難が困難な方について、利用施設等への一時的な避難を事前に調整
- 10 福祉避難所としての開設力向上に向けた取組(研修、訓練等)
- 11 その他()
- 12 備えていることはない

問30 災害対応に関して、札幌市に望むことはありますか。あてはまるものをすべて選択してください。

- 1 避難場所で福祉避難スペースを設けてほしい
- 2 避難場所の備蓄をもっと充実させてほしい
- 3 医療機器等の電源確保の対策をしてほしい
- 4 避難行動要支援者名簿の地域への提供を進めてほしい
- 5 障がい者を対象とした防災訓練を充実してほしい
- 6 障がい者のための防災マニュアルを作成してほしい
- 7 その他()
- 8 特に望むことはない

5 事業所における外国人材について

問31 外国人材の採用実績について、あてはまる選択肢に○をつけてください。

- 1 現在雇用している【→問32へ】
- 2 過去に雇用していた【→問32へ】
- 3 雇用したことはない【→問33へ】

(問31で「1」または「2」を選んだ事業所にお聞きします。)

問32 出身国と人数を教えてください。

出身国○○	人数○人
出身国	人数
	人
	人

問33 今後の外国人材採用の予定について、あてはまる選択肢に○をつけてください。

- 1 採用したいと考えている
- 2 検討中
- 3 当面予定はない

問34 外国人材を採用する場合に不安なことについて、あてはまる選択肢全てに○をつけてください。

- 1 利用者や職員とのコミュニケーション
- 2 採用コスト、ランニングコスト
- 3 外国人材の日本語能力
- 4 外国人材の技能レベル
- 5 受入体制(人材育成、業務外の日常支援など)の未整備
- 6 文化・生活習慣の違い
- 7 受入方法や受入制度への理解不足
- 8 その他
- 9 特に不安はない

問35 技能実習生の受入について、あてはまる選択肢に○をつけてください。

- 1 受け入れたことがある【→問36へ】
- 2 現在、受け入れを検討している
- 3 受け入れたことはないが興味はある
- 4 当面予定はない

(問35で「1」を選んだ事業所にお聞きします。)

問36 出身国と人数を教えてください。

出身国○○	人数○人
出身国	人数
	人
	人

保健福祉に関する企業意識アンケート調査

日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、今後の障がい福祉施策の推進のための参考資料とするため、企業の皆様の、障がいのある方とのかかわりや障がい福祉施策に対する考え方などをお聞きする調査を行うことといたしました。突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願いいたします。

今回の調査は、札幌市内の企業の中から無作為に抽出して、郵送させていただいたものです。この調査は、3年ごとに実施しており、前回も多くの企業に御回答いただいております。

なお、本調査の目的や概要につきましては、札幌市公式ホームページにおいても掲載しております。

ご回答にあたって

- アンケート調査の回答方法は次の2種類があります。(1)か(2)のどちらか1つを選んで、令和8年2月16日までに回答してください。
(1) この用紙に直接回答を記入し、同封の返信用封筒に入れてポストに投函する。
(切手は不要です。封筒にお名前を記入する必要もありません。)
(2) パソコンやスマートフォン等を使用し、右の二次元コードを読み取るか、[【https://forms.gle/6AHNrauahxdCguc18】](https://forms.gle/6AHNrauahxdCguc18)にアクセスし、フォームの内容に沿って回答する。
- 令和7年12月1日時点の状況でお答えください。
- ご回答いただきましたアンケート票につきましては、統計的に処理し、個票のまま公表することは一切ございません。また、本調査の用途以外の使用はいたしません。



ご不明な点やお問い合わせは

株式会社東京商工リサーチ 北海道支社 担当：子川、本川

電話：011-251-5181/FAX：011-222-2012

※本調査の目的や概要について(札幌市公式ホームページ内)

URL: <https://www.city.sapporo.jp/shogaifukushi/plan/r7yousa.html>

二次元コード：



1 貴社について

企業名			
住所			
アンケートご回答者	お名前	所属部署	
ご連絡先	電話番号：	メールアドレス：	
業種	1. 農林水産業 2. 製造業 3. 建設業 4. 電気・ガス・熱・水道業 5. 情報通信業 6. 運輸業	7. 卸売・小売業 8. 金融・保険業 9. 不動産・物品賃貸業 10. 学術研究、専門技術サービス業 11. 宿泊・飲食業	12. サービス・娯楽業 13. 教育・学習支援業 14. 医療・福祉業 15. サービス業 16. その他 ()
主な事業内容			
資本金	1. 1,000万円未満 2. 1,000～3,000万円未満 3. 3,000～5,000万円未満	4. 5,000万円～1億円未満 5. 1億円以上	
常用雇用労働者数	1. 1～29人 2. 30～99人 3. 100～199人	4. 200～499人 5. 500～999人 6. 1,000人以上	

2 障がいのある方の雇用について

問1. 貴社では障がいのある方を雇用したことはありますか。あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 現在雇用している【→問2へ】 | 3. 雇用したことはない【→問7へ】 |
| 2. 過去に雇用したことがある【→問2へ】 | |

《問1で「1」または「2」と回答した方にお聞きします》

問2. 貴社が雇用している（していた）方の障がいの種別について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------|--------------|
| 1. 身体障がい | 3. 精神障がい（※1） |
| 2. 知的障がい | 4. その他（※2） |

※1「精神障がい」は、精神障害者保健福祉手帳又は医師の診断書や意見書で把握している場合が該当します。

※2「その他」は、障害者手帳を取得していない「発達障がい」「高次脳機能障がい」「難病」等の場合が該当します。

問3. 貴社が雇用している（していた）方の障がいのある方のおもな職務内容について、自由にご記入ください。

問4. 貴社が、障がいのある方を雇用した経路についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|----------------------|
| 1. 学校や施設からの紹介 | 5. 知人からの紹介 |
| 2. ハローワークからの紹介 | 6. その他（ ） |
| 3. 障害者就業・生活支援センターからの支援 | |
| 4. 一般求人からの雇用 | 7. 入社後の従業員が障がいを持ったため |

問5. 貴社が、障がいのある方を雇用して良かったこと、困ったことについて自由にご記入ください。

（良かったこと）	（困ったこと）
----------	---------

問6. 貴社が、障がいのある方が離職しないために、工夫していることがあれば、自由にご記入ください。

《みなさまにお聞きします》

問7. 貴社では今後、障がいのある方を雇用したいと思えますか。あてはまるものを1つに○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 積極的に雇用したい【→問8へ】 | 3. 雇用は考えていない【→問9へ】 |
| 2. 検討していきたい【→問8へ】 | |

《問7で「1」または「2」と回答した方にお聞きします》

問8. その理由としてもっともあてはまるものを1つに○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 1. 雇用義務があるから | 4. 地域、社会への貢献のため |
| 2. 人手が不足しているから | 5. その他（ ） |
| 3. 雇用による社内への好影響が期待できるから | |

《問7で「3」と回答した方にお聞きします》

問9. その理由としてもっともあてはまるものを1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 障がい者雇用のイメージが湧かない | 6. 教育・指導が難しいため |
| 2. 障がいの有無に関わらず追加雇用が難しい | 7. 受け入れ体制、設備がないため |
| 3. 業種的に難しい | 8. 過去に雇用してうまくいかなかったから |
| 4. 計画している業績の達成が難しいため | 9. どこに相談してよいかわからない |
| 5. 適した業務がない | 10. その他（ ） |

《みなさまにお聞きします》

問10. 障がいのある方の雇用に関して、各種相談窓口や支援制度が用意されています。ご存知のものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ハローワーク | 7. 就業・生活相談室しんさつぼろ |
| 2. 北海道障害者職業センター | 8. 元気スキルアップ事業 |
| 3. 障がい者就業・生活支援センターたすく | 9. 特定求職者雇用開発助成金 |
| 4. 就業・生活応援プラザとねっと | 10. トライアル雇用助成金制度 |
| 5. 就業・生活相談室からびな | 11. 障害者雇用納付金関係助成金 |
| 6. 就業・生活相談室テラス | |

問11. 問10の各種相談窓口や支援制度について、活用したことがあるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ハローワーク | 7. 就業・生活相談室しんさつぼろ |
| 2. 北海道障害者職業センター | 8. 元気スキルアップ事業 |
| 3. 障がい者就業・生活支援センターたすく | 9. 特定求職者雇用開発助成金 |
| 4. 就業・生活応援プラザとねっと | 10. トライアル雇用助成金制度 |
| 5. 就業・生活相談室からびな | 11. 障害者雇用納付金関係助成金 |
| 6. 就業・生活相談室テラス | |

問12. 障がいのある方の雇用を促進していくためには、企業に対してどのような働きかけや支援制度が必要だと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------------|----------------------------------|
| 1. 行政機関からの雇用にかかる各種支援策の情報発信 | 6. 就業体験（インターンシップ）の促進 |
| 2. 学校や施設、ハローワークからの積極的なアプローチ | 7. ジョブ・チャレンジ等の雇用のための外部からの研修支援の充実 |
| 3. 内体構築・教育の仕組みづくりのコーディネート | 8. 障がいのある従業員への教育・訓練制度の充実 |
| 4. 企業への理解促進・意識啓発を目的とした研修等 | 9. その他（ ） |
| 5. 雇入れ及び雇用継続のための助成制度の充実 | |

問13. 貴社では、在宅就労（テレワーク）を導入していますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|------------------------------------|
| 1. 導入している
(在宅就労者 名 うち障がいのある方 名) |
| 2. 導入について検討している |
| 3. 導入する予定はない |

問14. 障がい者雇用に関する札幌市の施策について、ご意見、ご要望があればご記入ください。

--

3 障がいのある方と企業の関わりについて

問15. 貴社では、CSR（企業の社会的責任）やCSV（共有価値の創造）の観点から、障がいのある方、支援団体に対する社会貢献活動、地域活動を実施されたことはありますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 現在実施している 【→問16へ】 | 3. 実施したことはない【→問18へ】 |
| 2. 過去に実施したことがある【→問16へ】 | |

《問15で「1」または「2」と回答した方にお聞きます》

問16. その活動の内容について具体的にご記入ください。

--

問17. その活動のきっかけについてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 学校や施設からの依頼 | 4. 行政からの依頼 |
| 2. 町内会からの依頼 | 5. 自社による企画 |
| 3. 経済団体からの依頼 | 6. その他
() |

《みなさまにお聞きます》

問18. 貴社では今後、障がいのある方、支援団体に対する社会貢献活動、地域活動に取り組みたいと思いますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 積極的に取り組みたい【→問19へ】 | 3. 取組は考えていない【→問21へ】 |
| 2. 検討していきたい【→問19へ】 | |

《問18で「1」または「2」と回答した方にお聞きます》

問19. こうした活動に取り組む場合、どのような形で進めるのが望ましいですか。もっともあてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1. 障がい当事者、関係団体等から企画提案をしてもらい、適切であれば連携して取組を進めたい【→問20へ】 |
| 2. 貴社が企画し、必要に応じて障がい当事者、関係団体等に協力してもらいたい【→問21へ】 |
| 3. 最初から障がい当事者、関係団体等と協働・連携し、ニーズに対応した取組をともに企画・実施したい【→問21へ】 |
| 4. その他 ()
【→問21へ】 |

《問19で「1」と回答した方にお聞きます》

問20. 障がい当事者、関係団体等にどのような企画提案をして欲しいですか。あるいはどのようなことを協力してもらいたいですか。具体的にご記入ください。

--

《みなさまにお聞きます》

問21. 貴社では障がい者雇用や障がい者と企業との関わり等についてどのようにお考えですか。

項目	選択肢			
①企業は法定雇用率を守ったうえで、事業活動を行っていくべきだ	1. とても思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
②障がい者雇用を促進するため、障がい者に合わせた業務を企業で切り出したり、柔軟な勤務形態にしたりすることが大切だ	1. とても思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
③障がい者と一緒に仕事をするのは従業員にとってもよい教育になる	1. とても思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
④障がい者のことをそもそもよくわからないから、雇用に一歩踏み出せないことがある	1. とても思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない
⑤障がい者を直接雇用しない企業でも、障がい者施設・団体への業務発注を推進すべきだ	1. とても思う	2. そう思う	3. あまりそうは思わない	4. 全くそう思わない

問22. 企業による障がいのある方・支援団体に対する社会貢献活動や地域活動の推進について、札幌市に期待する点があればご記入ください。

4 障害者差別解消法について

《みなさまにお聞きます》

問 23. 令和6年に改正障害者差別解消法が施行され、企業による障がいのある方への合理的配慮（注1）が法的義務化されたことを知っていますか。

1. 知っている【→問24へ】
 2. 知らない【→問27へ】

注1 事業を行うに当たり、障がいのある人からの求めに応じ、負担になり過ぎない範囲で、社会的障壁を取り除くために必要な配慮が企業に求められること。

問24. 合理的配慮の法的義務化に向けて取り組んでいることはありますか。

1. 取り組んでいる【→問25へ】
 2. 取り組んでいない【→問26へ】

《問24で「1」と回答した方にお聞きます》

問25. どのような取組をしていますか。具体的にご記入ください。

《問24で「2」と回答した方にお聞きます》

問26. 取り組んでいない理由をお答えください。具体的にご記入ください。

《みなさまにお聞きます》

問27. 今後検討している取組があればお答えください。具体的にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

記入もれがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒に入れて

令和8年2月16日（月）までに投函してください。